京城日報
一日夕刊
定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢 三ヶ月分 六ヶ月分 郵税共 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓 ▲三號活字同上 ▲四號活字十一字詰壹行金貳圓拾錢 ▲六號活字廿一字詰金七拾錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局 一四五番 營業部 二二六番 振替貯金口座京城三〇〇番

○ラコニア撃沈と米政府

華盛頓政府はラコニア號の撃沈を以て明かに米獨問題を切斷せるものと目しつゝあり大統領ウヰルソン氏は目下國務卿ランシング氏と右事件に關し協議中なり(紐育電報)

▲米國政府は獨逸潜航艇のラコニア號無警告撃沈事件を以て斷然米獨交渉の打切となし自由行動に出でんとするものゝ如し(紐育電報)

○商船武裝公債案通過

華盛頓來電—大統領ウヰルソン氏の演説の結果として利息三分にて一億弗の公債を起し以て商船を武裝し且戰時保險を確保せんとする大統領の提案に裏書する議案下院に提出せられたるが議會は多少の修正を加へて同議案を通過したり又海軍卿は議會に臨みて或る制限されたる商船に對し大砲及び砲手の準備ある事を明言したり(紐育電報)

○獨人倶樂部出入禁止

北京に於ける外人倶樂部機關たる北京倶樂部は今回獨人の出入を禁止せり(北京電報)

○汪氏日本特派發表

二月二十七日命令を以て汪大燮氏を日本に特派し大勳章を捧呈せしむる旨發表されたり(北京特電)

▲朝鮮經由來朝 支那遣日特使汪大燮氏は本月十日頃朝鮮經由來朝す可し(北京電報)

▲接伴準備成る 不日來朝すべき支那遣日特使汪大燮氏接伴の準備成れり(東京電報)

○呉總長辭表提出か

呉外交總長は支獨交渉の非難を避けん爲め辭表を提出せりと傳へらる(北京電報)

○大阪陸氏歡迎

陸宗輿氏は歸國の途次二十八日大阪に立寄り官民の盛大なる歡迎を受けたり(大阪電報)

○勸銀鮮銀提携

日本勸業銀行及び朝鮮銀行は相提攜して向後滿洲方面に向つて大々的放資を爲すべしと傳へらる(東京電報)

○鐵道院副總裁

鐵道院副總裁古川阪次郎氏の更迭發表期切迫せり(東京電報)

○井出軍務局長離鮮

鎭海要港部視察の爲め出張せる海軍省軍務局長海軍少將井出謙治氏は廿八日午後七時著列車にて來釜同八時三十分仁川港高麗丸にて當地通過佐世保軍港に向け出發したり(釜山特電)

◎解決前の喜劇 張馮の軋轢

奉天に於ける張作霖、馮麟閣二巨頭の確執事件は其後双方共に萬一に備ふる警戒を弛めざるより城內外には盛んに流言蜚說起り住民等は兵變の爆發を畏れて恐惶を極めたるも張督軍は素より馮師團と云ひ又湯旅長と云ひ特別立場に在る奉天省の現任に於て斯る暴擧を敢行するの不利不能なるを知らざる程の狂愚漢に非らざるも唯彼我の放てる密偵の諜報に依りて双方互に來襲に備へて一夜三驚の痴態を演じ或は馮氏側は日本軍出動して張督軍を援くるとの情報に仰天して倉皇馬に秣ひ北鎭へ遁走するの準備を爲せば張氏側は愚かにも之れを馮軍の來襲準備と誤信して大狼狽を爲すなどの頓馬を演じたる事は事實なり斯る奇劇の演行せらるゝ一方には北京來の調停員王伯川、汪如泉二人は熱心に双方間に斡旋し特に二十五日夜の如きは深更に亙る迄馮氏の公館に於て馮氏一派と密議し翌日も又軍署及び張公館に於て商議を凝らし更に又呉中將、張海鵬及び省城各界代表者の居中調停に努むるあり馮湯二人の意大に釋けて退讓の色を現はし並に漸く解決點も見出されたれば張督軍より二十八師兵の出動喰止めの爲め京奉線馬山家子に派遣せる兵員も二十七日朝全く撤回するに至れり此事件は之れを張督軍の立場より云へば督軍は此件の爲めに其威望の不足を暴露したれば此際幾分の讓步を爲すとも其收局の一日も早きを保身上の利とす可し又馮湯二人より觀れば横紙破りの二人は横車を横に押し損じたるの憾みありて若し何時迄も我利を固執し中央の命令をも聽かざる時は終に全國の同情を失ひ政府の厳譴に逢ふも解くに由なく自滅に到るの外なければ中央調停の好潮時に將來援擢の保證と國家本位とを口實に此際融和するを得策とすればさてこそ既電の如く双方共に退讓し並に案外早く問題の解決に逢著したる者の如し(奉天)

◎奉天獨人の驚惶

支獨國交斷絶の機切迫し來り天津駐在の各國領事は在留獨人の處置法として(一)獨國人は盡く租界外に放逐する事(二)獨人經營の銀行及び商店は總て閉鎖する事(三)獨逸租界を各國共同租界となし獨國施設の各官衙を撤廢する事を決議し各本國政府の訓令を仰ぎつゝありて獨人等の驚惶一方ならず獨逸公使館守備兵の如きは武裝を解除して平服を裝ひ續々天津に下向せり(奉天)

◎總督法院視察

長谷川總督は武官秘書官等を隨へ二十八日午後一時より高等法院及び覆審地方法院を巡視したり

◎陸氏通過期

前駐日支那公使陸宗輿氏は一日夜釜山著の連絡船に搭乘の豫定なれば二日朝南大門通過の事となる可き旨其の筋に電報ありたり

◎大田京中分室

總督府にては大正六年度に於て大田中學校新設の事に決し所要の經費を同年度豫算面に計上せしも議會解散の爲め豫算は遂に不成立に歸せしより取り敢へず京城中學校分敎室となし四月上旬より授業開始の事となれるは同地通信所報の通りなるが生徒の收容數は差し向き五十名なれど京城中學校に於て別に五十名の增募を爲し七年度に於て校舍新築の上其の五十名を移轉せしむる筈なり、因に分敎室在勤敎師は四月一日までに任命を見る可し

◎道學務主任見學

道學務主任事務打合會同は二十八日を以て會議事項を終へ一日は豫定の如く京城高等普通學校、附屬普通學校、京城鍾路公立尋常高等小學校、京城專修學校等に赴き複式學級女子補習科其の他實地授業を見學したり

◎臨時研修會

總督府にては二日午後四時より第二會議室に臨時研修會を開き今般歸朝せる矢野税關長の歐米視察談ある筈

◎全羅丸の坐礁と善後策

門司雄基間總督府命令航路就航船全羅丸(一千噸)が江原道蠶津沖にて坐礁し大損害を受けし事は既報の如きが船體果して救助せらるゝや否やに就き某當局の談を聞くに

▲引卸し成功せん 全羅丸は暗礁乘上にて沈沒せるに非ず會社にては應急策一策として船體保險を附し居る東京海上保險會社に交渉し救助工作船の派出を要求しつゝあるに付多分遠からず其の來航を見るべく會社にて手を盡しつゝある救助船の手段は乘客郵便物等の便を圖るに於て遺憾なからんも恐らく船體引揚げには効果なからん而して工作船來航し船體の浮揚出來得るや否やは未だ確言し難きも恐らく汽罐部を取外し搭載荷物の處分をつけ全然空船とせば其引卸し作業は成功すべく問題は破損修理の程度如何にあらんか

▲全羅丸代船 全羅丸の取卸し成功し修理出來するも其間に要する時日は蓋し少なからずと見て可ならん然らば全羅丸の航行可能期に入るまで同船の就航せる門司雄基間命令航路を如何にすべきやと云ふに會社にては差向き同船の代船として廻航せしむべき適當の船舶を有せずさりとて之れを缺航とするは朝鮮沿海航路上の遺憾少なからず當局又缺航を容認せざるものゝ如ければ朝郵會社にては事變發生後直ちに內地某方面に向け傭船の交渉を開始し一方吉田專務は遞信當局に出頭其の意向を確めつゝあるに付數日中左右共決定するに至るべく或は多數噸數に於て小型船とならんやも知るべからざるものゝ如し

▲損害額如何 船體の時價は約四十四五萬圓所との說あるが救助を成功すれば結局會社の直接受くる損害は莫大ならざるべし唯目下傭船料騰貴の際とて新傭船料の割高は從つて會社に影響を齎らし來るべきか尙ほ積荷は黑砂糖麥粉を主とし約五千個五萬圓內外にて果して全部浸水し居るや否や不明なり但し積荷の損失は避くべからざる災害にて其の責任會社に非ず結局荷主及び保險會社の損失となるべし尙ほ郵便物は無事なりしと

◎人見課長歸期

農商工部庶務課長人見次郞氏は三日頃歸任の豫定なりしも調査事務の爲め滯京日數を變更せる由にて歸任期は多分十日頃となる可し

◎吉松慶北一部長

慶北第一部長吉松憲郞氏は此程豫算其他打合せのため入京渡邊高等法院長邸に滯在中なるが二日出發歸任の筈

◎青沼副事務官重態

猩紅熱にて順化院に入院中の遞信局副事務官青沼鑄太郞氏は本病治療に近かりしも餘病併發の爲め二十八日以來重態に陷れり

◎(改正)移民規則認可

東洋拓殖會社より總督府に認可申請中なりし改正移住規則は二月二十八日附總督府より認可の指令ありて三月一日より實施全文四十六條より成り居れるが改正の要旨は舊規則を基礎とし之れに從來の經驗及び其の移住に付思ひ切りたる改善の方法を執れるものにして土地の讓渡移住費の貸附移住民の保護に於て頗る面目を革め朝鮮拓殖上一新生面を拓かんとするにあるものゝ如し

◎本年招募移民

東拓改正移民規則總督府より認可されし三月一日より實施の事となりしに付會社にては新規則により近く大正六年度移民の招募に着手すべきが戶數は從來に比し減少すべし

◎仁川船渠株勸誘

仁川船渠株式會社創立事務所にては二十八日設立趣意書企業目論見書定款計畫說明書及び株式申込書、勸誘狀等を添付し朝鮮內各地阪神地方有力者に向け株式募集勸誘狀を發したり 今計畫說明書の示す所を摘記すれば三百噸級以下の船舶に對する完全なる造船所無き結果僅少の修理も內地造船所の力を借らざる可からざる事從つて船主の被る有形無形の損害大にして不便少からず故に朝鮮に於ける船渠會社の實現を時勢に[illegible]熱望し居る次第なるが同會社は時勢に應ずる爲め百噸の修繕船渠此れに附隨する庭艦工場組立工場火造場其他所要の工場を設け朝鮮沿岸航路の汽船及び帆船の修繕及び新造に從事する者なりと、然して造船費は大阪に於ては職工賃及び材料價格合率十割に對し仁川は十二割四步にて大阪に於て製造する方二割四步安價なりと雖も大阪製の者を移入すれば運賃關稅海上保險料等少くも二割五步を要する譯にて結局大阪に比し一分方安價となり同時其他に於て需要者の便宜大なる可しと

【平壤】

▲殖牛觀の新設 平安南道唐井面に於ては一月十三日面民百七十四人面役所に集會し畜牛の改良蕃殖を圖る目的を以て殖牛觀を新設したるが觀長は互選の結果李承武當選就任せり▲製叺組合 平安南道中和郡唐井面に於ては從來製叺業非常に旺盛の土地なるが今回篤農家相會して製叺組合を組織し製品の改良共同販賣をなす目的なるが組員は百三十餘名組長には崔根李を互選せり▲洞里長名譽職 平安南道に於ては今回管內洞里長を可成名譽職とする方針にて目下着々と調査進行中なるが本道に於ける洞里長の數は一千五百四十二人にして之れに要する一箇年の手當は三萬六千九百四十二圓一人宛二十二圓なるが此れにより剩餘を來したる地方費を以て賢力ある面書記を任命し面事務の刷進を圖るべしと▲組合會議 鎭南浦學校組合に於ては二月二十七日府廳樓上に於て六年度組合歲出の豫算會議を開催せり▲傷病兵慰問 平南傷病兵慰問と平南德川公衙を會長とせる聯合國傷病者慰問義捐金募集に關し平安南道にては官吏のみならず一般會社銀行其他の富豪よりも慰問金を募集する由にて其筋より夫れ〳〵勸誘狀を發送せり

【元山】

▲元山の徵兵檢査 元山大隊に於ては來る四月五日午前八時より同大隊本部內にて適齡徵兵檢査を行ふべく決定したり▲元山倶樂部開催 元山地方に於ける讀書趣味の普及並に相互の娛樂と親睦を圖るべく豫て計畫中なりし元山倶樂部は加入者殊の外多數にして既に大體の準備も整ひたるを以て愈々來る三月三日より開場すべしと▲幼稚園再興問題 過般燒失したる元山幼稚園の再興に關しては目下新築園舍の設計を急ぐ一方後援有志者等は寄附金の募集方法等に就き協議中なり▲元山大隊强行軍 既報元山大隊二年兵五十名は佐竹大隊長に引率され三泊の豫定にて安邊、高山方面に强行軍をなすべく二十七日午前八時出發せり▲積雪二尺餘 元山地方は二十六日夜より稀有の大雪にて二十八日朝まで降り續き積雪量二尺餘に達し市內の往來困難を極め居れり▲陸軍記念日祝賀 來るべき三月十日の陸軍記念日當日元山に於ては元山所在陸軍各部隊及び在鄉軍人元山分會合同にて祝賀會を催すべく目下頻りに準備中なるが諸種餘興の催し等ある筈なれば當日は定めて盛會なるべし▲坂本部長轉勤 元山警察署に勤務中なりし巡査部長坂本金彌氏は今回京城鍾路警察署詰を命ぜられ二十八日朝鐵路赴任したり▲[illegible]の漁況 元山近海は久しく漁獲の狀態持續したるが最近氣候の緩和に伴れ鰊の漁期の切迫しつゝある一方鱈は數日前より虎島方面に於て多少の漁獲あり引續き各方面より尠からぬ漁獲を示せりと雖も漁期は平年に比し稍期遲れの模樣なりと

【清州】

▲忠北地稅完納 忠清北道五年度第二期地稅徵收成績を聞くに清州鎭川の二郡を除く各郡は二十七日迄に全部の完納を見たる由にて前記兩郡に於ても廿七日迄に額の九割九步の徵收率に達したる故二十八日の期日迄には全部の納入濟となりたる筈なり▲聯隊幹部演習 富塚大佐統率の下に去る廿三日より鳥致院清州間美湖川流域附近に於いて行ひたる步兵第八十聯隊幹部演習は二十七日愈々終了したるにより同夜聯隊長以下參加將校二十餘名は清州に於て一泊の上翌二十八日各駐屯所屬隊に其々歸還したり▲隊長管內視察 新任前田清州憲兵隊長は去る二十五日より忠州陰城地方巡視中の處二十七日歸任し引續き來る二日より四日間の豫定にて沃川永同秋風嶺地方を巡視すべしと▲憲兵補助員採用 清州憲兵分隊にては過日來憲兵補助員志願者募集中の處二十八日の募集締切期日迄に志願者約三十名に達したれば三月中旬迄に採用試驗を行ふべし

【大邱】

▲バーレー賞成績 慶北永川郡新寧に耕作せしバーレー種實は其成績良好にして專賣課に於ても將來有望の地と矚目しつゝあり故に極力是が獎勵に努め昨年度に於ける耕作組合員中成績佳良なるものに對し專賣課大邱出張所長前田邦彥氏同所技手小金敘藏氏調査の結果去日永川郡廳に於て(一等一名、二等六名、三等五名)賞金授與を行ひしが右本年度試作反別は約三十町步以上に上る可しと▲小牟田署長送別會 三日午後一時より大邱明石に於て今回京畿道警務部に榮轉せし小牟田前大邱警察署長の送別碁會を開く▲金泉諸品評會 慶北金泉郡に於ては三月二、三日郡廳內に於て地主組合小作米、地主組合預托牛、繩叺製造等の諸品評會を開催し三日郡廳內に於て賞狀授與及び優良小作人表彰を行ふ道廳より鈴木道長官、審査長として岸技師、審査官として常松技手、本谷技手臨席す▲慶北財務主任會議 慶北道にては來る三月十三日より三日間道廳樓上に於て管內府郡島財務主任會議を開く筈▲明治神宮獻金額 慶尚北道に於ける明治神宮奉贊會獻金豫定額は七千圓にして實際應募額九千百六十圓七錢に達し非常なる好成績を以て完結せり

【釜山】

▲學校組合會議 釜山學校組合は廿七日午後二時より同組合樓上に於て開會したるが第一號議案釜山學校組合中一部改正の件は校舍建築等の際に於ける監督技術者を書記とし定員二人とあるを三人とするものにして可決確定第二號議案戶別割及び等級賦課率の件は第二讀會に移し第四號議案大正六年度釜山學校組合歲入出豫算は第二讀會に移し第二號議案と共に五名の調査委員附托とし選擧の結果岡梅三郞、堤貞之、田端正平、河內山品之助、水上八郞の五氏當選し第三號議案學校組合金庫事務取扱規則制定の件及び第五號議案基本財產處分に關する件は前同樣の委員に附托し調査せしむることゝなし午後五時閉會したるが調査委員は互選の結果田端正平氏を委員長とし三月一日調査委員會を同事務所に於て開會する筈なり▲主任書記會議 釜山府內務係主任書記齋藤德氏は慶南道廳に於て三月一日より開會の府郡內務係主任書記會議に出席の爲め廿八日午前十時三十分發列車にて晉州に出張せり▲大商支店長上阪 大阪商船會社釜山支店長宮地時彥氏は社務打合の爲め三月二日出發大阪支店へ赴く筈

人事消息

▲田中卯三氏(山林課長) 二日朝京畿、江原兩道へ出張八日朝歸任の豫定なり
▲鈴木坂鐵氏(土木局技師) 一日附咸南平北及咸興へ出張の序を以て會寧へ出張を命ぜらる
▲横井增治氏(同上) 同日附同津會寧へ
▲三井榮長氏(農務課技師) 同日附にて福岡、山口、廣島、兵庫、大阪、三重、東京、山形、岩手、青森各府縣へ
▲大野木金吉氏(實業家) 一日朝入京天眞樓へ
▲岡野友藏氏(龍城憲兵隊二等軍曹) 二月二十六日夜入京清光館へ
▲武石榮吉氏(公州憲兵隊二等軍曹) 二月二十七日夜入京同上
▲齋藤賢藏氏(義州憲兵隊二等軍曹) 二月二十八日夜入京同上
▲寺島才二郞氏(群山警務署長) 二月二十八日夜入京浦尾に投宿二日頃退京の豫定
▲田中遜氏(李王職事務官) 一日夜入京浦尾に投宿の筈
▲齋藤濟州警務署長 一日午後退京
▲古我貞周氏(早島物產商會員) 二月二十八日夜退京
▲上野良丞氏(步兵大尉) 同上
▲東田筑氏(慶南道事務官) 二十八日夜歸任
▲京城駐在露國副領事 廿八日夜長崎より歸京
▲市川賢太郞少將 二十八日夜水原より平壤へ
▲町田少佐(奉天督軍顧問) 二十八日夜內地より奉天へ
▲大垣丈夫氏(京城通信社長) 二十八日夜仁川より歸京
▲宮島貞一氏(本町警察署長) 一日午前內地より歸任
▲津山美吉氏(殖產正金銀行員) 釜山より北行

逐鹿夜話

△某候補者が或有力者を訪問して政情偵察と洒落ると有力者は早くも候補者の腹中を讀んで此奴一番ホツびらへて『サー其事だ君に會ふたら注意しやうと思つてたが君も今度候補に立つは好いが二三度位の選擧費用は用意して居るのだらうね政府不信任派が多數なら無論解散だぞ……』と大袈裟に脅かすと候補君は早速歸つて『吾輩某有力者と會談の結果政府の異意を確めたが今度も愈々解散だね』と盛に再解散說を振り廻して同志の立候補を躊躇させて居るとは何處迄も拔目のない男だ
△岐阜縣では市部から眼科醫の山田永俊君が出て郡部から野原櫻州と云ふ畫伯が出る事となると或詩人が又た現はれて畫家と醫師とを向ふへ廻して中原の鹿を逐ふとは是亦珍現象の一に數へられて居る
△群馬縣郡部から名乘を揚げた中立田島遺策君の運動員中には知々性の惡いのが居て名刺を新しい五圓札大に作り其の裏に五圓札を貼して渡し天晴天下の名案だと自慢中を御用之れが全國選擧違反のイの一番の皮切りだ
△大袈裟に東京市から名乘りを揚げた醫界の名物男金杉英五郞博士の運動振りは大したものだが其の運動員中一入人目を引くのは名物女優の貞奴髮を流行風に分け洋裝や裾模樣で押し出し『抑も耳鼻咽喉科の大家としては……』テナ事で舞臺の白もどきに戶別の能辯は慥かに誰かのお仕込だらうとのこと
△之れも東京から出る荻野萬之助君が宣言書執筆の形は頗る珍奇で先づ毛布を頭から達磨の如に被つて机に向ひ他の人々の宣言書を參考として連日徹宵食を廢し文章に沒頭して汗だく〳〵何んな立派な宣言書が出來るかと運動員はかたづを呑んで待つて居る相な

潜水夫も入ることが出來ぬ
全羅丸遭難海面の大暴れ

全羅丸遭難の實况は一日朝刊所載の元山特電の通りにして乘客の大部分は救助に向ひたる朝郵汽船によりて二十八日夜

長箭に上陸 したるが尙ほ遭難乘客中[illegible]に上陸せる十六名は一日朝救助船によりて長箭に上陸したり然して是等の船客中元山以北の者は一日中に元山に送り屆くる筈にて下陸客の防寒設備、食料に就いては十分の手當を盡すべき旨本社より命令を發したり、遭難の模樣程度は

激浪のため 接近する[illegible]海上聯絡を執る能はざるのみならず潛水夫を入るゝ能はざるため水面下の狀態を知るに苦しみ居る模樣なるも船體全部が海中に沒し居れるには非ざれば多分引卸しを爲し得べく同船の被保險額は二十四五萬圓にして外に救助費支辨の契約ありて之れがため東京海上保險會社にては近く

工作救助船 を遭難地に[illegible]航せしむべく實地調査のため同保險會社よりは一日社員を出張せしめたり

創業以來 五年になりますが汽船の事故によつて人命に危害を及ぼしたことは未だ一回もなく實に今回が始めてであります、死傷者の氏名は頻りに照會して居りますが[illegible]上の連絡が充分でないために未だその報告に接しない[illegible]遭難者に對しては[illegible]ばかりでなく北[illegible]です、會社

危險なる 北鮮航路に於いて[illegible]乘客に死傷者を出した[illegible]

▲誠に遺憾です
川田文書課長曰く

右に就き朝郵川田文書課長は語つて曰く『船は致し方がありませんが遭難の死傷者は乘客中鮮人小兒一名の凍死と內地人一名の負傷者を出した事は誠に遺憾です』

◉張督軍三月には
內地觀光の筈であつたが＝町野少佐の談

[illegible]二月二十八日午前九[illegible]自分は二箇月以前に休暇を得て東京に歸省したが豫て奉天特派張作霖氏は日本觀光の希望があり今日本朝野の

△意見を交換 したいとの希望を抱いて愈々三月中旬には日本に渡航することに確定したので自分は東京に留まり待合はせるやうにとのことで今日迄滯京して居たところ突然歸奉を促して來たので匆惶歸奉した次第であるが張督軍の日本渡來は實行せらるべきか將又た中止したのか其邊の處は未だ自分は確めて居ないが近頃諸新聞の傳ふる處に因れば將軍は馬賊問題の間に間隙を生じ互ひに意志の疏通を缺ぎ穩かならざる狀勢に在るやうに思へるから或は

△其邊の事情 より自然日本渡來は中止となつたかも計れぬ由來將軍は張の先輩であるが近來兩者の間は自ら圓滿を缺るかの節ないでもないが然し兩者の間柄は諸新聞紙に傳ふる如き重大な疎隔を來たして居るとは思はれない（奉天）

◉大虎と大豹を生擒る

咸南永興邑內菊谷力造（三十）は去る二十二日午後二時頃永興郡宣興面延信里を距る約四里の地點に赴むきたるに同村附近に彷ひ居たる犬一疋を喰ひ去りたる大虎あるを聞き込み直ちに鮮人三名を雇ひ山麓より追ひ上げ菊谷は山腹の岩陰に身を潛めて今や遲しと待ち居たる折しも件の大虎は物凄き振舞ひして山頂指して上り來るを見遁し狙ひを定めて一發を放てば狙ひは過たず虎の心臟部を打ち拔きたれば流石の猛虎も堪まらずドツと倒れたるより昇ぎ下り[illegible]にて手當を加へ居る由なるが右大虎は重量六十五貫餘にして頭部に不思議にも王形の印しあり且つ同人は其翌日同所より二里餘の地點にて八貫五百目許の豹一頭をも生捕りたりと

◉寺院の樹林を種に詐欺
住持と結託して

江原道鐵原郡西邊面讀書洞の安養寺と言へば近郷に知られし古刹にして四戸の末寺を有し居れるが同寺附近は蒼然たる樹林にして遊覽地として好適の地なり然るに此の樹林は同所云洞面下[illegible]乙里金鐘奉（三十）の所有なりしを

▲昨年十一月 安養寺が三百六十圓にて買收したるものにて其代金は未だ支付濟みとなり居らざることを探知したる同郡[illegible]

[illegible]る契約成立し直ちに同月十八日より伐採して炭燒きに着手せしより鐵原憲兵分隊の怪しむ所となり兩名を取調べ中兩名は早くも京城に出で某辯護代理業者に依頼し其の入智慧にて

△文書を僞造 し之を楯に取りて鐵原支廳に樹林の權利獲得訴訟を提起し[illegible]しなることこそ發覺し住持等二名は文書僞造詐欺に依り何れも鐵原憲兵分隊に檢擧せられ此程京城地方法院檢事局に送られたり

◆妻は美人に有之候

忠淸北道淸州郡淸州面[illegible]內鮮の妻和歌山縣海草郡[illegible]町生れ小池きくゑ（二[illegible]）は去る二十六日午後七時頃亭主の不在中飄然として外出したる儘翌日に至るも歸宅せざるより終日町中を尋ね廻つた末になりて內地に逃げ歸りし形跡ありとて廿七日附にて保護願を釜山署に郵送し來りたるが人相書に麗々敷『妻きくゑの容貌は美人の部に有之候』と特記し居れり（釜山）

◉猛火に包まれて幼兒は慘死、妻は重傷
吉野町の大火＝憐れなる集配人の一家

一日午前九時十分頃京城吉野町二丁目二十四番地居住京城郵便局集配人山田吉[illegible]方より出火し[illegible]

▲平素附へこて [illegible]

◉八人組の強盜
五千圓を強奪す

[illegible]大正元年以降蔚山慶州の兩郡を荒し廻れる兇賊たる[illegible]八名は一團となり或は三四名共謀し晝は何れも農業に從事し夜は時間を定めて指定したる場所に落合ひ役割を定め暗號を用ゐて巧に犯跡を晦しゐたるものにて大正二年七月七日夜慶州郡府內面沙正里金潤老方に侵入し家人を縛して現金四千八百八十九圓物品五點合計四千九百二十圓を强奪して各分配し一部の者は該金に依りて家屋を新築して他へ移轉したるものもあり其後本年一月末迄に左記數箇所にて同樣强盜を働きたるを府內警察署にて探知し此程犯人全部を檢擧し取調べの上檢事局へ送りたり

▲慶州郡[illegible]

☆町內のご自慢
▲並木町▽
□皆働らき手許り揃つて

並木町は新町遊廓から獎忠壇道の北側一圓、高野山の丘の麓から訓練院前の黃金町電車通りまで擴がる、內地人の戸數百二十戸と鮮人の戸數二百三四十戸、何分にも京城の東の場末の事とて堂々たる御役所や邸宅こそなけれ內地人には野菜培りの人々から鳥渡お面ひの西四軒町には百花園、一樂園などの風流な商賣も尠なくない

▽それに京城の混雜家の中央には赤煉瓦建築の株式織紐會社があつて何れの家にもガチヤ／＼ガチヤ／＼雨のやうな糸卷機械の響が起る、由來並木町の打紐業は京城は愚か朝鮮內の津々浦々まで聞ねた名物

▽近來は又た內地式の織機を用ゐて廣巾の綿織を製造する向きも增ねたとのこと町の人達は女子供まで頗る勸勉で他の町內の鮮人の如く遊び廻る者はチツともない町總代三上豐さんの宅は獎忠壇の入口の交番所前にあつて並木町の東南の突角に位する位置にあるが自動車修繕業の三上さんと云へば此の附近でも他の町內でもウムあの人かとすぐ解る三上さんは明治三十年頃渡鮮し今の龍山印刷局が典圜局と稱して舊政府時代の造幣局たりし頃同所に勤務して居た人で

▽今日の新町から獎忠壇道の切通し道路は三上さんの斡旋によつて出來たのと何んでもあの附近の地主が土地を寄附して朝鮮の工兵さんがヘト／＼になつて土持ちしたものはなしであるからこれからうそれにまた新町つゞきの一帶には一昨年頃から朝鮮の美人が集く其後粹な遊紅、明月なんどの街燈が出來だして昨今ではだん／＼增加する傾向があり此の邊一帶の[illegible]は頗る恐縮して居る

[illegible]町內の寄附金を募るため戸別訪問[illegible]がしい相だ由來鮮人には敬神の念がないので戸別四錢の寄附金でもなか／＼出し澁りまあ總代の顏に免じて出しませうといふやうなとで[illegible]外はなか／＼むづかしい相な

並木町總代　三上豐君

◉煙突から出火

二十八日午後十一時四十分頃京城竹添町三丁目鹽醬製造李元汝方の溫突の煙突より發火し大事に及ばんとせしも常備消防隊の自動車喞筒出動し間もなく消止む

◉一高朝鮮會

鮮台は一日午後六時より三回一高朝鮮會を花月に開催出席者は約五十名の豫定にて先づ酒宴、野次など十傑の選擧を爲し宴酣に至れば綱引、狂言、劍舞等の如く大騷ぎの餘興に入るといふ

◉棄て兒　釜山大廳町二丁目伊勢甚太方の邸內へ二十八日午後八時頃生後二個月許りなる男兒を襤褸に包み棄て置きたるものあるを發見し大廳町巡査派出所に屆出でたるより警官出張し取調べたるも何者の所爲とも判明せざれば府廳へ引渡し養育する筈

◉書畫骨董の交換會　京城大和町一丁目書畫骨董同好會にては三日正午より[illegible]交換會を催し三日は下見四日の午後より開札する由會員外の希望者にして當日携帶入りを歡迎する由會費不要なりと

◇軍艦見物△6▽
しもやけの妙藥

▽上甲板のよく日の當りよく風の通る場所に、見術々和布が干してある樣に、ロツプの解した汚らしいのが幾つも／＼纏綿にかけて干してある。

▽そこへ來ると、案內の分隊長は徐ろに目を開いて『此奴等世界中の海軍で我大日本帝國の軍艦程綺麗な軍艦を持つて居る海軍は有りません此艦でも甲板は上下共一日に六回洗ふ事になつて居ます。それは皆この綱を解したので以つてやります』

▽『オイ／＼一寸此人に洗ふ所をお目にかけて見んか！』こんな所にこんな馬鹿らしい註文が待伏して居やうとは夢にも知らなかつた二等水兵君、分隊長の言下に活潑に四ツ這ひになつて、綱屑の雜巾を兩手に緊と押へゴシ／＼磨く眞似をする。

▽その瞳の奥には、つまらないナと云ふ諦めと、冗談ぢやないと云ふ不平とが一つになつた表情が動いて居た。

▽『水を使ふ事が多いものですからこゝへかうして（しもやけの妙藥）を備へ付けて置きます……』と。

▽競爭者のない軍艦の中で僞、妙藥と誇張した處は頗る振つて居る。（千帆）

◉昨年の虎疫流行に怖毛を振つて
仁川では春匆々豫防的活動

仁川警察署は昨年の虎疫の大流行に鑑み近々大々的に檢病的戸口調査及び採糞試驗をなす由であるが此れに就いて松元署長曰く『昨年の今頃は本署では檢病的戸口調査を開始すると共に大淸潔法を勵行した結果甚しき蔓延を見る事無く終熄せしむる事を得た然るに九月に入つて內地各地に發生した虎疫が當港に侵入し當局は不眠不休の狀態で防疫に從事したが不幸にも四百數十名の患者二百名の保菌者を出すに至つて人心の不安恐慌は甚しい者があつたから本年は惡疫の

◆發生を未然に 防ぐ可く檢糞を開始した譯である、其の方法は先づ第一に檢病的戸口調査、解氷に伴ふ春季の大淸潔法、漁船集團地の視察等を嚴重に施行し且つ先づ第一次に患者死者發生家屋及び其附近の採糞をなし第二次に保菌者發見家屋及び其附近の採糞をなし檢疫所に於て菌の有無を試驗するのである、而して警察署では有病地より來る旅客の健康狀態に注意し

◆醫師と連絡 して萬一惡疫發生の場合は遺憾なき防疫施設をなし得る樣昨夏大流行の經驗に鑑み目下準備中である採糞は杻峴派出所管內牛角里等三月五日より外里十日より花町花房町宮町水上署管內順次採糞する由（仁川）

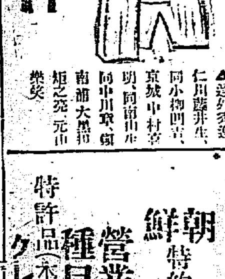
◉力彌と照江
兩人とも解放せらる

釜山警察署に拘留中なりし兇賊島內宗雄の情婦十河照江及び京城新町遊廓朝鮮樓の娼妓力彌は宗雄の取調べ一先づ終了し兩名とも兇行の事情を知悉せざること明白となりしを以て廿七日何れも解放せられ照江は同夜の連絡船にて內地に歸り力彌は實父母が釜山の牧の島に居住せるより一兩日滯在して京城に歸る筈也（釜山）

讀者文藝（一等には五十錢の賞品を呈す）

▲飲め歌

紙雛（一等）　龍岩浦　武良富美子



▲選外秀逸　仁川藤井生、同小柳門宵、京城中村幸、明同南山生、同中川紫、南浦大黑猫、姬之苑元山樂哭

◉揃つた大姉　[illegible]

◉連絡船上陸客　二月二十八日　八幡丸[illegible]

■課題及募集規定　[illegible]

■募集規程　▲原紙は讀者文藝[illegible]一枚毎に紙上の雅號又は住所氏名明記の事[illegible]

天氣　晴れ　[illegible]

迎歡大きな涯際（際涯なき大歡迎）

長編講談　各三十錢　送料一冊六錢小包料二冊八錢
木下藤吉郎　赤穗義士　伊達騷動　佐賀の夜櫻　由井正雪　羽柴筑前守　相馬誠忠錄　天下茶屋　大久保彦左衛門　紀伊國屋文左衛門　幡隨院長兵衛　天坊一休　佐倉宗五郎　侍從五郎
第十六編　加藤清正　桃川燕玉演　最新刊
東京本町　博文館

小兒齒科　衛生科　齒列矯正科
龍山齒科醫院　京城府龍山榮町　電話五五五番

銃獵の趣味　朝鮮獵友會長三島太郎君校閱　會員吉村青坡君著　（定價四十錢　郵稅二錢）
今や狩獵の好季節となれり狩獵者として必讀缺く可らざるものは本書也卷中載むる所銃獵の趣味と修養、銃器、彈藥、射獵、出獵、附屬品獵犬に關し其他狩獵の好場所を指示し獵者の案內者たり是非一本を購して携帶するを忘る可からざる也
京城太平通　京城日報代理部（振替京城三〇〇番）

帝國製麻株式會社製品
東洋木材防腐株式會社製品
朝鮮特約販賣店　村松武八商店
京城府龍山元町三丁目五十七番地　電話二六番
營業種目　麻、綿、ズツク、ダツク類販賣　和洋麻綿毛織物及製作品、鐵道貨車雨覆請負　天幕、雨覆製作請負、並にズツク製作品一式
特許品（木材防腐劑）クレオソリーム　東洋木材防腐株式會社製　クレオソート

土地賣却廣告
京城府延禧面四十八番地　朝鮮家屋付き　二十一坪　日本家屋　六十四坪　宅地　百六十一坪餘
同西部面舊館前井洞　（明治町より約十町）宅地　四萬三千餘坪
楊州郡別內面德松里　（京城驛より約五千坪）
振威郡一北面葛串里　（京釜線鳥山驛より約三十町）地　二萬五千二百三十坪
京城南大門通三丁目　川勝京城支店

丸澤常哉先生校補　大學教授工科　前岐阜縣技師製紙試驗場長　今岡顯先生著
製紙の學理及實際
菊判上製五百五十頁 一色版四色版カット百十 定價貳圓六拾錢 送料十二錢
紙の暴騰は既に問題を突破せり。目下焦眉の問題は製紙の研究に在り[illegible]今岡先生多年の經驗と[illegible]丸澤教授の校補を經て本書を大成せらる。[illegible]
東京神田　富山房（振替五〇一番）

月十七日丹治の留守中を狙ひ家具數點 即も某事件に〆目下平… を價格八圓五十錢に賣拂ひ兩人手に 調中なりと

最初に電話で話した言葉は『お早う』といふ日本語であつた

電話機が四十一年前にグラハムベル氏に依て發明されたことは誰も知つてゐるが

◎電話機の實驗 に際し第一に通話を試みた言語は日本語であつ…

◎費府の博覽會 に出品せんとしたけれども出品の爲め其の旅費調達にも苦心した程であつたが同氏は後にニチツン氏等の電話に關する特權を英國の聯合電話會社に讓渡した際には其價格三百萬圓であつたベル氏に關し種々面白い逸話がある同氏は有名な盲唖教育者で其夫人は唖者である同氏は嘗て

◎日本に來朝した際山縣五十氏は…氏に對し日本種々不便…たらうと遂べたらベル氏の曰く香港邦東中衆人相座の場合には多少離れ居るも手眞似にて用を辨じ得るを以て利便なる場合もあると答へたとのことだ(矢野通信部長談)

たとのことである蓋し當時ベル氏の助手として伊澤修二氏がゐて同氏が『お早う』と稱へた日本語は電話に使用せられた第一番目の言葉であつたと云ふ實に面白いことである電話機發明當時のベル氏は頗る窮乏の極に達し自己の發明品を

□燻製鮭の食べ方

燻製鮭は年中美味しくいたゞかれますが…けても先づ一番味がよろしうムいますと…鮭は今迄多く外國人の食卓に供されてゐましたが、近來は日本人の需要も増して來たさうです。其の調理な召し上り方を二三通りに述べて見ませう。

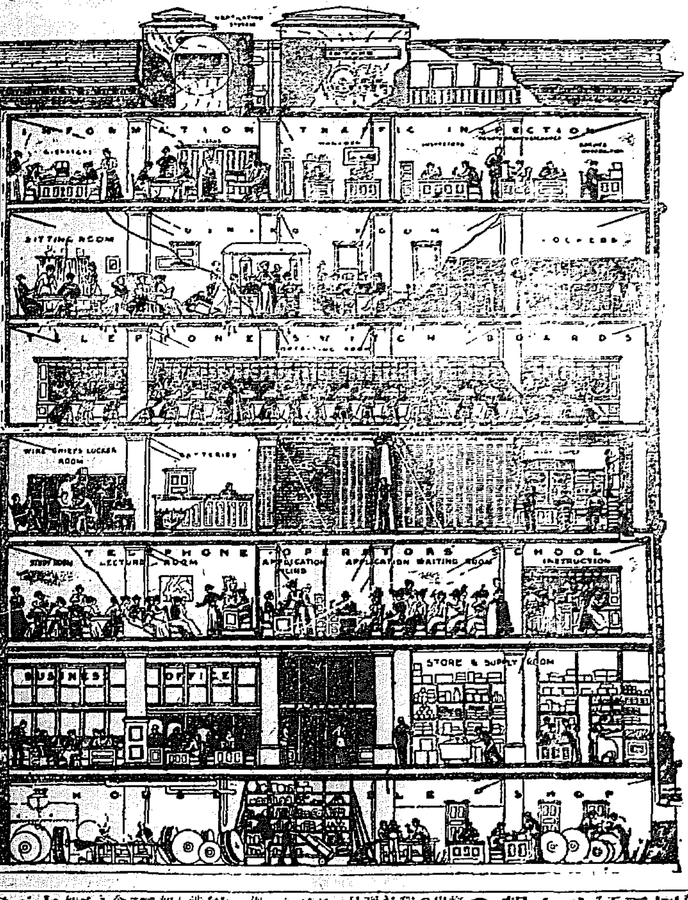
□サシミ 燻製鮭を水に浸して柔かにし、其のまゝ三枚におろし薄く切つて山葵醬油をつけていたゞきます。又は酢醬油に漬けて置いていたゞきますと味が大へんよろしい。

□オムレツ 鮭の如くにして細かく刻みソースに漬け別に玉葱を刻んで罌粟油を振りかけ、ラード又はヘットでいため卵などと前の鮭、玉葱とを入れてフライパンで焼きます。

□サラダ 生菜の外葉を去り能く洗つて水氣を去り、適宜に切つて之にサラダソースを加へて皿に盛り別に茹でた赤大根の皮を剝ぎ酢に漬けて之を薄く三月花に切り、サラダの上にまばらにのせ、之に鮭を適宜に切つて付け合せます。

□炙り肉 數分間熱湯の中に浸し、適宜に鹽拔して按水氣を去り薄く切つてオリーブ油に浸し、火に炙つていたゞくのです。

◇進歩せる紐育電話局の横斷面圖



△第一階電話器販賣所△第二階事務室及び用度課△第三階交換手養成所△第四階交換室△第五階交換室△第六階食堂休憩所△監理檢查室

◇流行の小兒服

十歳位までの坊ちゃん孃さん向きの春の洋服は、先づ坊ちゃんならば大人の着る

♣背廣の 襟をもつと大きく派手に折つた型が流行で、從來の水兵型もやつぱり歡迎されて居ります、地の色合は紺サージが此の春の流行でこれまでよくうけた茶は此頃では少々

♣下火に なりました縞物ですと、ホームスパン地の格子が珍らしく縞の色は鼠に茶がかつたものや盛に鼠がかつたものが出て居ります

♣縞セル の中に青がかつた立縞がムいますが、やつぱり今年の新しい柄で、いづれも白いカラーのついたものでございます、お孃さん向きは

♣今春は 矢張り紺サージが流行で、海老茶も相當に出ます、型は從來のやうに手の込んだものよりは一體に小ザツパリしたのが流行で、ベルトも上り氣味になり前で

♣合せ方 も以前とは變り取りはづしも自由に出來るやうなつて居ります、襟は從來の水兵型とあまり變りませんが、今年のは其の襟が大きく

♣星形に 切り込みをつけたのが出て居ります、なほ斬新な型の一つにスカートと上着とが別々になつて居るものがございます。スカートの型にはたゝみ襞とたゝみ襞の方は見た眼には大へん可愛らしく映じます、すべての飾にはこれまで

♣ギヤダ とがムいますが、

♣天鵞絨 が多く用ひられましたが今春のは琥珀で飾つてございます

神社とお寺と敎會

◎一盤屋に賞與 本町警察署巡査中村光太郎は同署管内仁源洞强盜被害者…八月六日强盜傷人犯人金龍福を逮捕したる功に依り二月二十六日附を以て警務總長より中村巡査に四圓金獎金を附與へられたり

○本能寺(水標橋通) 二日午後六時より如來講師の法話及び日蓮主義研究演說會開催あり

○西本願寺(若草町) 一日午後七時半より婦人例會あり

商況

債券現物特電
(京東) 一日出來値 東京… 五分利公債 …

公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●綿布糸は氣丈
會中の三品氣配は米棉一圓二十錢方強含み綿布氣配しよ薬店へ入電ありし極めて朝は龍シー現物六十錢九龍六圓三十錢を唱へ新甫の發會…

五十錢九龍六圓三十錢 手百八十一圓又は現物は角七十六十手百五十五圓を報ず

●炭界復た動かん
…需供の均衡再び破れ…南鮮地方の缺乏甚だしきより…南鮮地方用は大至急内地炭を揚陸…力の減少を救ひ得るべし…撫順出炭

●滯炭力缺乏

京仁間の貯炭は千九百噸

●石油値下げ乎

各社の步調亂る

旗亟値下の時

(マ)廣告 確實迅速

●九錢位の値下

●細布値上說

●二十錢方値上げ

●鉱力板氣迷ひ

五十錢方引締

引上げ實行は一寸困難

●錬鐵の高下

烏賊入電は三十六圓見當

十四五圓に

京城正米

南大門の廻穀

仁川市現物場

穀物市場(廿八日)

生魚市場

△釜山水產市場

仁川期米

▲一日前場 大阪天候晴天前寄十三錢安

十九錢上鞘 二六錢安新甫

二箇四十錢の移

新甫一錢上鞘

市場零聞

▲發會小變動

敎派主力筋

先限に向つ猛烈に乘替

之に應戰す乘り替に

能く買向

田中金五衞 電話長六五二八番

▲前場の手振

④大に賣る

▲邑能く賣る

▲今能く賣る

▲買時機尙早乎

▲落商行出

仕手の移動に依る

▲期近强硬

▲新甫發會す

▲日の商內

▲⊕能く買ふ

▲⊖能く買ふ

▲⊕能く買ふ

▲墨能く賣る

仁川米豆取引所

一日の五月限

前場	値段
寄付	十三圓
高値	十三圓
安値	十三圓
出來	四萬四千二百五十石

三月限 賣買取組高 四萬五百石
四月限 七萬千二百石
二十八日後場 前日と比較

小賣白米

一等白米 十五錢五厘
次白 十五錢

演藝案內

黃金館 電話二六三七 早川直營
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
三月一日より特別興行 …大古典大史劇サランボオ 全九卷…

壽館 京城 電話一○五○ 壽町
危險眼力術 ▲錦心流琵琶 …

浪花館 明治町 電話二六○
浪花館主 敬白
毎夜讀物續き △柳生仙吉傳(廣澤照月) △寬政力士傳(廣澤菊友) △豐臣三番兒(京山和生) △廣澤菊若 △水戶漫遊記(京山勝) △義と勇(廣澤寬) △僞苦心談 △永勇婦傳(廣澤夏菊)

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
二月二十三日より特別大興行 …

堀內新泉先生新著
當世百道樂
四六判 定價一圓二十錢 美裝 送料金八錢
◎著者獨特の警句奇觀犀利の筆は現代の道樂を解剖し或は大に奨め大に飛め大に遊び大に笑ひ大に自省せしむるの大文字深く强く現代を諷刺し痛覺せしむる近來稀有の快著也
賣捌所 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三○○番

內科 小兒科 村上病院
京城永樂町一丁目(品商陳列舘前) 電話六一三番
院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學士 松下三郎

◎家庭贈答品には天下一品
富士揚枝
食後の快感は衛生の重要なり
六種の妙香は長壽の親玉なり
△六香撰 △ほくか △しやんぴんさいだ △れもん △にくけい △さんしよ △はいあつぷる
◎富士ようじの供へなき時は食卓の美を缺くと稱揚せられつゝあり
◎高尙優美切組細工箱入大中小御進物用として尤も適品なり殊に內地にては旅館茶代替し等に常用頗る多し
製造發賣元 静岡縣駿河國江尻港岸 東洋堂 阪上政次郞謹製 (長距二○四番)

各國時計 自轉車 蓄音器 直輸入 卸商
京城黃金町二丁目 電話一○一五番
喜多金光堂 振替口座七八三番

無代進呈(往復はがきにて申込あれ)
園藝カタログ 大正六年春期號
本號には銀カップの懸賞あり
ダリヤ、菊、バラ、カーネション、ゼラニユーム、朝顏其他一切の春蒔春植込の和洋花卉蔬菜の種子、苗、根類を網羅す。各種には親切なる培養法を述べ美麗なる口繪、挿繪の寫眞版にて形容を示す。然して此のカタログにより提供せらるゝ總ては最も正確にして發芽力生育力旺盛なるものなり。
京橋區日吉町 國民新聞社勸業部
京城太平町 京城日報社代理部 振替京城三○○番

優等清酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話四一九 振替口座四三九九番

朝鮮銀行
京城 振替貯金口座 京城三二三番
電話(局)三二一、三二二、一六一、一六二、三六一、二六〇、一二六〇、一二六一
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

山川白酒 京城本町二丁目 電話二十七番 四七五番 龜屋商店
古オルガン樂器買受 新古樂器交換販賣 京城本町勢山樂器店

致富之栞!! 進呈
營業所(堂島濱壱丁目) 大阪堂島米穀取引所仲買人
今延商店
電話 北四六八番 北四六九番 北四七○番 南五六番
電信略號(イマ) 證券受信電略(オサカイマエ)

明君道中記

第七十三席　田邊南龍口演

光山寺の和尚は子分に對ひ　僧『權次』權『ヘイ』僧『もう宜からうから行つて見て來な、寢て居たら起して伴れて來い』權『宜しうござんす』と權次は密と足音のしない樣におゆりの寢て居る座敷へ來て見ると、寢所は藻抜けの殻、向ふの雨戸が開いて居りますから權次は驚き取つて返し　權『親分大變でござんす』僧『何が大變だ』權『女は居りません』僧『何に居ねエ、何うしたのだ』權『大方俺共の話を聞いて逃出したのでございませう』僧『折角の仕事を爲損じてはつまらねエ、未だ遠くは行くめエ、殊には勝手不案内逃す氣遣ひは無エ、追駈けて引捉へて來い』權『宜うござんす』と其儘三人は追駈けて參ります、此方はおゆり惡漢共の密談を聞いて寺を逃出しましたが、夜分と云ひ暗さは闇し道は判らず、街道の方へ逃げるつもりであつたのが方角違ひに奥の方へ逃げました、後より追駈け來つた惡漢共　權『ヤー、親分向ふへ人影が見ゑるのは確に彼の女でございませう』僧『オー然うだ、早く捉へろ』權『オーイ姐さん待ねエ、何處へ行くのだ逃げやうとしても逃す氣遣ひは無エから』とバラ〳〵追駈けて來るおゆりは一命懸命逃出したが後より追ひ駈け來る樣子であるからもう絶體絶命何んとしやうと、ヒヨイと傍を見ると非人小屋がありました、是れは非人共の作らへたものでございますが、突如おゆりは其の小屋の内へ飛び込み此處へ隱れるつもり、スルと小屋の内にて聲を掛けた者があるから　ゆり『洵に恐入りますが賊に追はれて難儀をいたします者、何うぞおかくまい下さる樣』○『お見受け申せばお女中の樣子、賊の爲に追はれて御難儀をなさるとはお氣の毒なことで、此の小屋は拙者の作つた物ではない故御遠慮なくお入りなさる樣』と云はれて能々見ると非人と思ひしが左にあらずして年齢三十四五歳にして鼻筋の通つた立派な人物、身には鼠木綿の衣類白の手甲脚絆を附け天蓋を頂いて居りますのは云はずと知れたる虚無僧でありまする、おゆりは其處へ兩手を突いて　ゆり『是は御普化僧には御迷惑ではございませうが、委細は後してお話しをいたしますが此の急場をお助け下さいます樣』虚『何かは知らんが女子一人難儀をするとあらばお助け申さう』と云つて居る處へ三人は飛んで來て此の小屋の前に立ち　權『親分今まで見ゑた奴が此の小屋の前で見ねエなくつたのは適切り此の小屋へ入つたに違ひございません』僧『然うか、早く此處へ引出せ』權『合點でござんす』と蔭聲を上げて　權『ヤイ女郎、這麼處に隱れたつて仕方が無エ、此方へ出ろ』と中へ手を差し入れておゆりの手を取らうとする時に其の手を取つて逆に捻り肩に擔いで二三間向ふへ投付ける、今一人の子分が打つてかゝるを起上げて蹴付け、此の體を見て光山寺の和尚　僧『ヤー汝は何だ』虚『要らざる處へ出て邪魔をするな默れ、汝等は此の街道にて惡さをいたす盗賊であるな、助けてくれと頼まれし故此の婦人を助け遣はすのだ』僧『何に女を助けるのだと、俺も頭は圓いが腹の中まで圓くは無エ、此の街道で少しは他人に知られた本名光山寺の仁藏といふ盗人だ、要らざる眞似をして命を失ふな』と腰に帶びたる大刀をキラリ引抜き斬てかゝる、彼の虚無僧はヒラリ身を轉じ腰に帶したは代笛にあらず仕込の一刀拔打にエイと一聲荒鷲の首を宙天へ斬飛ばした、二人の子分は親分の敵と打つてかゝるを右と左へ一刀兩斷血振ひをいたして刀を鞘に納めおゆりの傍へ立寄つた、抑も此の虚無僧は何者でございませうか。

婦人科 産科　二宮醫院　京城壽町四一　醫學士　二宮亮吉　電話一二〇一番

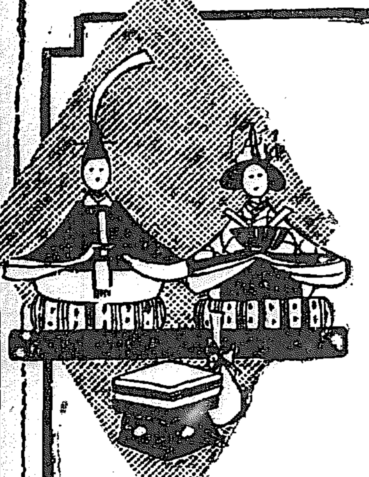
毛皮なめし　防寒靴 スリツパ製造　大坂屋　地方代替郵送　京城黄金町三

京染 呉服　京都 たまや出張店　本町一丁目　電話一一九六

三月三日　九星
西二月十日甲辰　本命二黒坤平大安

▲二黒 願ひ事有る日新事見合東方は吉暗剣坤 ▲三碧 思はぬ敵の出る事有る日新事手控家事は吉交際に用心せらるべし ▲四緑 約に悖る事を意味する日新事手控萬事は妨げなし ▲五黄 味方爭ひを生ぜんとす注意新事手控新事工事は妨げなし ▲六白 向上の日轉居旅行入學名弘採礦求職婚禮大なる金融を計る事萬吉 ▲七赤 氣合よき日轉居入學行商名弘金談吉 ▲八白 親母子から勝の日女子は行儀を守らる吉 ▲九紫 大成の日轉居旅行入門名弘金談求職結婚等吉 ▲一白 避かれ迷惑の事有る日新事手控萬事は吉一切のせわずがよし

老舗讓る
十年以上經營し毎年純益二千圓内外ある某飲食店(京城目抜の場所目下盛業しつゝあり)今般家事の都合上不得止至急歸國有姿の儘格安讓る御希望の方は南大門通り五丁目廣岡藥店へ御來談を乞ふ希望者の都合上至極便利の方法もある委細對面の上



女雛男雛に
肖る小寶儲けるには
何よりも効目の卓れた
婦人良藥
中将湯
を召し上り
不姙症の因となる
婦人病治すが何よりの捷徑

婦人衛生手引
御申込次第無代進呈
(御要郵券二銭)

主効
●子宮病子宮内膜炎にて白帶多く前腹れ又下腹腰足の引つり痛む人
●婦人神經(ヒステリー)血道にて氣鬱癇高ぶり物を苦にし夜眠れず
●月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何んとなく身體惡しき人
●逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え●息切れ動氣強く手足痺れ水腫れ
●十七八歳になりて月經なく血ぶとり又た月經の前後に下腹痛む人
●白帶赤帶帶下多く顔色蒼白き人●冷症にして難産流産の癖ある人
●産前何となく常ならざる人、嘔吐産後古血の滯り、或は日立惡しく
●此他子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら〳〵と惡しき人

定價
二日分 廿錢　四日分 卅五錢　一週間分 六十錢　二週分 一圓十錢
三週分 一圓六十錢　五週分 二圓五十錢　十週分 四圓五十錢　廿週分 八圓五十錢
▲加減藥あり容體詳しく御申込あれ　一週分 七十五錢　四週分 二圓五十錢

本舗
東京日本橋通四丁目　津村順天堂本店　電話本局六十二番六十三番　振替口座六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町　津村順天堂支店　電話南二十五番　振替口座四五六番

●中将湯は世界到處の藥店にあり市内配達無料

資本金參百萬圓
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
明治卅八年十三設立
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
長 男爵 李允用
専務取締役 韓相龍
電話 二六四六番 二三九番　振替京城一八六三番 一二〇五
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

内科 小兒科　京城日出小學校前　多々見醫院　入院隨意　電話九四〇番

京城高等普通學校教諭阪上綱吉先生著
朝鮮諸官廳受驗必讀 法律講義
定價八十錢 郵税六錢
本書が各種官廳の採用試驗に應せんとする人の爲に各法律を既出の試驗問驗を緯とし教授の實際を經として簡明に敍述し直に採つて以て答案をなし得べきやう講義したる好著なることは本書發刊以後に於ける法律の筆記試驗問題が皆本書中に擧げられ居るにても知らるべし之れ本書が其の姉妹篇法律問答の口述試驗好準備書たると相俟つて受驗者に必要欠くべからざる所以なり敢て月桂冠を得んとする人の座右に一本を薦む
賣捌所　京城大平町一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹸部　化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外[illegible]町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番
京城岡崎町一四番地　朝日石鹸製造所　電話二五九番　振替口座京城六〇四番

外科 一般花柳病科
内科 一般皮膚病科
普通及隔離病室完備　診察夜九時迄
京城旭町一丁目(本通り左に入る)　島崎病院　電話二七三六番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗

京城明治町二丁目　山邑京城支店　電話 八四一番 四五四番 九四番　振替京城五七番

イゲダ小兒病内科醫院　池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話(醫院一二三四番 自宅八八〇番)

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢三厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店　京城黄金町　電話四二〇番 五八〇番　振替口座京城八一四番
同 龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

第三版

京城日報

三月二日（夕刊と合せて八頁）

發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
印刷人 小川三之介

▲後場の手控

支那の去就

京城日報

過日來、支那が日本及び英佛露伊等の聯合國に通盟し、獨逸に對して戰を開くべしと云ふ世評甚だ高し。初め米國政府支那に勸むるに、自己と等しく獨逸と外交關係を絶つべきことを以てするや、支那政府は先づ獨逸の封鎖經畫の無法且不當なることを抗議し、既に其の回答を得たるが、今猶ほ其去就につき謀議中なれども、抗議に續いて國交を絶つあらば、之に次ぐものは戰爭ならざるべからず。獨逸と戰を開くは則ち日本及び協商國と其行動を共にする所以なるや論なきなり。

吾人は英佛露伊諸國と共に獨逸を敵として戰ひつゝあるものなれば、支那にして起ちて我味方となることは固より其の喜ぶ所なり。然れども是れ支那自身の自由意思を以て其を決定すべきものにして、他國の勸誘、又は忠告あるが爲めに、或は去り或は就くべきものならざるなり。支那政府が獨逸の一月三十一日の宣言に對して抗議したるは、支那自身其宣言を排除せざるべからざるの理由を有するが爲めなり。此抗議の結果として展開し來る出來事も、亦支那自身の面目支那自身の利益を支持するが爲めならざるべからずして、支那にして獨立國たる以上は其外交は自主的たらざるを得ず。

尤も今日日支親善を極め、協商諸國民亦甚だ支那と相善きを以て、其外交上互に相依つて切なる偲なるとは固より之あるべしと雖も、是は自ら外交上の事なり。今日何れの國たりとも支那の內政に干渉せむと欲するものは之れ無く、支那の外交を强制せむと欲するものも亦之れ無し。乃ち支那國民たるものは此間に立ちて正々堂々自己の自由意思に依りて其の去就を定め、其の大國家たり大國民たるの意氣を示す所なかるべからず。

近報支那政府は自ら起ちて協商側に加盟するの報償として、關稅引上げ賠償金支拂延期大借款速成領事裁判撤廢案の諸條件を提起し、利害損益を打算して其去就を決すべしと爲すものあり。甚だしきは某國は關稅引上げを承諾すべし、某國は右借款速成に贊成を表したりなど、說くものすらこれ有りと雖も、是等は餘りに早まりたる揣摩と云ふ。支那政府何事を懇求せりやは一か、彼とても自己の體面を重せざらざるなり。自ら獨逸と開戰すべきや否やを決せむとするに際して、却て堀々として協商國に向て報償條件を說くが如きの嫌を敢てすべけむや。現に支那政府は未だ此種の交渉を開始せず、從て某國或條件を承諾し、某國或條件を贊成するといふが如きも亦有り得べからざるの事也。而して後日支那政府にして若し是等の案を提起するあらば、關係列國は之を以て對獨關係とは別箇の問題と爲して協議するの外あるべからず。且支那にして若し協商國側に加盟し共戰闘に參加するあらば、協商諸國亦自らこれと共働相助の道を講ずるに怠らざるべしと雖も、支那自ら其去就を決せずして先づ協商國側の協議條件を擧ぐるが如きは、其順序を顚倒せるものたり。

支那の加入條件

法學博士 鹽澤昌貞

支那對獨斷交問題は未だ解決されさうにも無いが、支那を勸誘した米國でさへ、國交こそ斷絶したけれども宣戰布告はして居らぬ位であるから、支那が果して對獨斷交をやるか怎うか、未定の問題である、更にまた聯合國加入の話に至つては其れから後に來る問題である、英國を始めとし切りに聯合國加入を慫慂し、近く此問題に關する聯合國會議を

△東京に於て開催 する豫定もあると云ふ事だが、却說此聯合國加入問題に聯關する、支那の要求である、近頃頻りに治外法權の撤廢及び關稅改革、借款促進等を叫んで居る樣である、支那が此際斷然たる常日に於て容易に解決されさうにも無い問題を提へ來つて、此機會を利用せんとするのは當然の事である、けれども

△支那自身から云 へば凡て自國の爲めになる事を考ふ可きであるが、其事に大關係を有する他の國からは特に其國の立ち場を中心として考へねばならぬ事と思ふ、關稅五分稅改正と云ふ事は之れを要するに、支那の保護政策である、其爲めに日本の打擊が如何程であるかを能く考ふ可きである、此爲めに日本商品の支那に於ける市場を危殆ならしめ、貿易上多大なる打擊となるが故に速かにかゝる

△提議を阻止す可し と云ふ我國當業間の輿論など決して無關に抑壓す可き事では無いと思ふ、要するにかゝる問題は一時的外交關係の爲めに左右する事の出來ない重大なる問題である、聯合國加入勸誘は此際獨逸の暴戾に對して、非常に歡迎す可き事たるに相違ないのであるが、日本將來の立ち場を忘却して迄考へんければならぬ問題であらうか。若し强いて支那をして聯合國に加入せしめやうとするならば日本の當局は

△宜しく支那に對 して其れよりも外に適當なるべき條件を發見する事も出來やうと思ふ、外交の能力は實に斯う云ふ場合に於て始めて發揮す可き事である（東京）

「公爵桂太郎傳」出づ

千山萬壑樓主人

二、編纂の經過と出版

▲蘇峰學人は委員會より桂公記傳編纂の委託を受くるや、編纂事業を以て唯一の責任と爲し、大正四年一月、學人總裁指揮の下に編纂局を開き、首として記傳編纂の方針、及び記述體裁の方法を定め、第一著手として公爵家に秘藏しつゝある公爵自叙傳、及び公爵手記の諸覺書、雜記、並に公私の文書、往復の書柬等を整理し、特に山縣元帥が學人の囑に應じて提供せられたる桂公との往復書柬を首とし、朝鮮紳の所藏せる公爵の書柬を蒐集し、更に生前公と親交ありし諸名流を訪問し、及其來臨を乞ひ、其直話逸事を筆記し、…根本資料として編纂に著手したり。

▲編纂に著手せしより殆んど一年有半、大正五年六月に及び、漸く脫稿したり。脫稿の後、學人親しく之を點檢し、反復討論、參互考索、稿を改むるもの再三、其甚しきに至りては五六回に及び、筆すべきものは筆し、削るべきものは削り、必ず至當に非ずんば、止まず。而も之を印刷に附し、其漸く校了を告ぐるに至りたるは、昨年臘月盡日なりしも、其校正も亦再三にして止まらず、七八回に至りしも敢て珍らしからず。最善の力を竭して其の紕繆を正うするに努めたり。此の如くにして、苦心經營の結果「本年二月十六日に及び、始めて其製本を見るに至りし也。

▲本書は菊判總「クロース」乾坤全二冊、總紙數二千三百五十頁、此の容積…寸六分、…重量一貫四百二十匁にして二重函入と爲す。本書出色の一たる寫眞圖畫版は、乾坤兩卷を通じて石版廿六種「コロタイプ」版二十種、銅版二十五種、著色地圖四種「ジンク」版一種、總計七十六種の多きに達せり。

△石版は防長の先輩たる廣澤眞臣、木戶孝允を首とし、伊藤、山縣、大山、黑田、松方、井上、西園寺の諸老、並に桂公の書柬を原寸大に複寫製版したるものにして、就中其最も長文なるものは、一丈三尺餘あり。今若し其二十六種の書柬を横に展觀する時は其長さ十三丈餘に達すべし『コロタイプ』版は桂公父母肖像の外は、悉く桂公の肖像に係り、王政維新時代に於ける小照を首とし、立憲同志會創立時代に於る撮影を收め、銅版は公の歷史に關係縁故ある各種の寫眞にして、地圖は桂公の手記に係る韓形勢略圖、及び奧羽戰役、日清戰役に關するものあるを收めたり。

▲又坤卷の卷末には、桂系譜、桂公年譜及び索引を加へ、其紙數、百十餘頁に達したり。單に之を外容より觀るも、本書が如何に大正の一代の出版界に特色ある一大著作たる乎を知るに足るべし。

▲本書の製本は普通製と特製とに分ち、特製は三十部を限りて發行し、全文字入とし、總桐製の函に收め、先づ之を最上洋紙に印刷し、極上總革製に製本して、天皇陛下、皇太子殿下、各宮殿下に獻上し、而して後之を桂公の墓前に捧ぐる由也。但だ本書は非賣品にして、部數限りあるを以て、故桂公爵記念事業委員會の擧を贊し、金五圓以上を寄付したるものに對し、之を頒分するに止まり、廣く一般の希望に應ずること能はざるを遺憾とするのみ。

日露獨同盟說

ドクトルフヒロツヒイ 植原悅次郎

紐育タイムスはボストン、ヘラルド紙の華盛頓通信員の報告なりとして、日露獨三國同盟企畫の策されつゝあるを傳へ、獨逸は印度に於て自由行動を採る事を條件として同盟が企圖されつゝあるを報じてゐる。然し是は恐らく根據なき風說に過ぎぬと信ずる所のある者である。露國は單獨講和の主張若くは運動をなすものあるは恐らく事實なるべしと雖も、既に單獨講和に加入してゐる以上、印度に於て地歩を占むると云ふが如く單なる理由に因りて露獨が提携すべしとは到底考へられぬ所である。何となれば露國が此大亂の渦中に投じた理由の一は、言ふ迄もなく巴爾幹及び近東に優秀の地位を占めんがために外ならぬ。即ち開戰半にして露英の間にダーダネルス海峽の自由を認め、土耳其に於ける露の特種の地位を承認する事を條件とした契約が、兩者の間に成立した事が報ぜらるべからざる所であると云ふ樣な事、固より露國の單獨講和などかな、得べきものではないのみならず、縱令日本にした所が支那に於て自由行動を執るといふも、露國が印度に於て地歩を占めるとしても近東巴爾幹を獨逸に押へられてゐたら首を締められてゐる樣な結果になるは明かである。要するに斯の如き風說は畢竟するに例の獨逸宣傳にすぎまいと思ふ（東京）

東部內蒙古礦產（五）

△石炭

▽朝陽溝子附近 本礦は圍場縣に屬し、圍場府（圍場縣）の西北七十五支里、天寶山（雉子山）の東々北五十支里、朝陽溝子と稱する小都市の西北に在り。而して現在稼行せるは（イ）鐵匠溝と稱し、朝陽溝子の北八支里、鐵匠溝の採溝にあり（ロ）三家西溝炭礦、普通王載川萬盛榮と稱し朝陽溝子の西南十五支里三家西溝の南二支里七棵樹溝炭礦に位す（ハ）七棵樹溝と鐵匠溝炭礦の間に位す之等に通ずる道路は良好ならざるも車馬を通す地質は古生紀に屬する第の如く片麻岩を以て地盤となし砂岩、硬岩及び礫岩の互層之れを被覆す礦の如し岩層は是等岩類の互層中に夾在して數層あり走向及び傾斜は一樣ならずして各層必ずしも平行せず然れども之れを通觀するに其走向は略北五十度東傾斜は凡そ北西二十度內外なりとす即ち鐵匠溝附近に於ては北七十五度東に走り北西に二十度乃至六十五度傾斜し三家西溝附近に於ては北三十度乃至四十五度東に走り傾斜地西卅度を示せり而して各炭層の厚は三家西溝は二寸乃至一尺、鐵匠溝は一尺乃至二尺內外に達す而して一般に下部に進むに從ひ膨大するものゝ如く時に各層合致して四尺以上の厚さに達する事あり而して本炭田の炭層は延長約十支里、幅員二支里に達する者の如し炭質は無煙炭に近き有煙炭に屬すと雖も西南部に於ては噴出炭の影響を受け無煙炭に變質せり一般に粘結性を有せず灰分に富めり採掘せる石炭は塊粉半ばし黑色にして光澤あり調査當時稼行せるは前記鐵匠溝炭礦、三家西溝炭礦及び七棵樹溝炭礦の三にして何れも露頭部より岩層に沿ひて斜坑（加勢三、四）を掘下せり其他楊樹溝炭礦は民國三年五月朝陽溝子の李寬山なる者苦力十一人を使役して上下に各一坑を穿ちて採炭せる者にして一日の炭量四千斤內外なり三家西溝炭礦は目下二坑あり何れも深さ四丈に達す民國四年十月十八人十一人共力して採炭に從事せる者にして一日の出炭量五千斤外なり七棵樹溝炭礦は十八人五人協力して稼行せるものにして一日の出炭量は五六百斤に過ぎず山元に於ける價格は石炭一千斤に就き七吊文乃至八吊文（一吊文は銅貨十箇換へ）にして朝陽溝子に於ては一千斤十吊文に販賣せり需要は主として附近の部落に於て家事用に供せらるゝものにして多くは朝陽溝子に於て消費さる本炭田は元より大炭田に非ず且つ炭層比較的薄層なり而して天寶山以西は古來森林地帶として識られたる處にして今猶樹木を殘存し木炭の產出盛にして當地附近に於ては比較的廉價を以て薪炭を購ひ得るにより毫も石炭の必要を感ぜず殊に交通不便の地に位するが故に銷路極めて少く現在に於ては殆んど有望なる炭田として思惟し難きものありと雖も炭質概して無煙炭に富み室內用に使用し得るを以て今後交通の便開かれ販路の擴張さるゝ事あるも難からず然し從業者は排水に意を注がざれば多大の出炭を期し難し要するに本炭田の發展は交通の便を計るにありて其將來に著目する時は決して看過すべからざる者なり

日報歌壇

京城 高須賀默

ふたりして支ゆる戀よぬばたまの波一波に沈み沈みゆく
投げ出せし心は濡れよ渚さへに投げ出せし心は波の打よるたびに
悲しみのやりところなきたそがれにつばき一つ花一つ落ち來ぬ
十重二十重圍み居たりし吾が心たやすく君にのぞかれしかな
石油罐かん〱打てば何事か起りて來らし心地すれども
圓らなる君が瞳の淚こそ戾きものと知りは知りたれ

內容愈々充實 三月號出づ

朝鮮公論

◇口繪六頁 ◇五階の窓

總選擧と國民の覺悟 原敬…犬養毅…中橋德五郎…江藤哲藏…堀切善兵衞…大岡育造…小川平吉

予が立候補の抱負如何 ―岡田榮―高橋章之助―

ウィルソン 長瀨鳳輔

米獨斷交後に現はれた我國經濟界及事業界の新現象 男爵 澁澤榮一…第百銀行 池田謙三

鑛業界（朝鮮鑛業近況）

京城取引所新設意見（二） 財界時言…板橋生

鮮銀新重役大田三郎 朝鮮金持物語…紀の國家

三十臺の實業家 秦男 滿鮮法政大學問 泰山生

總選擧に當り吾人の抱負 經綸を披瀝す 朝鮮公論社長 牧山耕藏

ゴム人形の大使…板橋生 米と株…大正成金

京城本町總まくり 金時生 總督府官人論 有馬 島永

朝鮮鑛業開發の五大策 明治鑛業技師長 石渡信太郎

予は滿洲を如何に觀たか…鮮銀總裁 美濃部俊吉

家の聲…時岡欣堂

良過ぎて惡い棉…笠原寬美 焦れて鳴く聲…吉田秀次郎 玄米の飯の味…島田志良

女將の見た男らしい男 ▲花も實もある武士の…有美館女將 ▲乘るか反るかの度胸…辰の家女將 ▲男の中の男とは…宮久家女將

今や半島實業家蹶起の時 ―余が机上に現れた半島事業界の新傾向…青木商工課長 ―全世界の產業革命と朝鮮の工業…入江理財課長

◇公論餘滴 ◇公論文壇 ◇六號雜話 ◇讀者の聲 ◇實力の人

一冊金二十五錢 六冊前金一圓四十五錢 十二冊二圓八十錢 郵稅一冊一錢五厘 內地臺灣支那朝鮮各地書店に在り

二大雜誌 購讀申込所
京城太平通二丁目 朝鮮公論社 電話長二四〇〇番、一〇七〇番 振替口座京城一五七七番
京城太平通二丁目 大陸婦人界社 電話長二四〇〇番、一〇七〇番 振替口座京城二〇〇〇番

お待兼の三月號出づ

大陸婦人界

（好評如勇）（全誌如花）

◇口繪 鮮麗なる寫眞 ◇紀元節の京城 ◇新郎新婦 ◇總督部の兎狩 ◇雛祭 ◇其他 ◇古海嬢

雛祭と家庭教育 高島作三郎

◇私はこうして交際を…深澤こする子 ◇訪問の時…有賀公子

慶弔の禮 太田秀穗 ◇猫 坪內孝 ◇愉快な生活法 持地もい子

益殖える離婚に就きて 宮田修 ◇私の此頃 鄕津檢事正夫人

誤られた自由結婚 內ケ崎作三郎 ◇編輯局から

殖民地婦人の美點長所 宮原生 ◇短歌 ◇俳句 ◇お白粉の女

華麗主義を排せよ

李王家溫室中から…欣平 ◇內田公使夫人訪問記…夕陽生

雜音の中にて 時岡欣堂 ◇兎狩お供の記 石森胡蝶

不品行の良人に對して 某長官夫人 ◇三月の獻立

弱き心 板橋春秋 ◇オトギバナシ 玩具の夜逃げ

殖民地女中研究…岩本しげ子 峰尾鉚子 芳賀いね子 弓場春子

奥樣大評判記（愈出愈大評判） ◇私の見てきた歐洲のさま〲…阪谷芳朗

一冊金二十錢 郵稅一錢 半年分同一圓二十四錢 一年分同二圓四十五錢 ◎臺灣滿洲內地各書店に在り

獨逸の狂暴を如何かせん
兩院聯合會に於ける米大統領の演說

華盛頓來電】二月二十六日午後兩院聯合會に於て試みたる大統領ウヰルソン氏の演說左の如し（紐育電報）

余は茲に諸君に對し再び特權の附與を要求せんと欲す非は他に非ず我國は今や重大なる時機に瀕し居るを以てなり即ち獨逸は寸刻の猶豫もなく曩に宣言せる慘忍なる潛航艇戰策を實行しつゝあるを以て我國は斯くの如き獨逸の横暴を防がん爲め中立諸國の共力を求めたりされど中立諸國は吾人と協同の態度に出づるものなし而して米國の商業は其の船客の多くが襲擊を恐れて出港を敢てせざる等の事實よりも恐慌の爲め大なる打擊を被りつゝあり先頃二隻の米國の汽船擊沈されたるも何等特殊の事件發生せず從つて二月三日余が諸君に對し演述したる所と事實上大差あるを見ず然れども我國の船主等は充分なる保障若しくば保護なくして其の船舶を危險區域に航せしむる事を欲せざるが故に依然として我運輸は停滯狀態にあるを免れず從つて獨逸は假りに狂暴なる行爲を事實上行はずとするも結局獨逸は其の目的を達しつゝある譯なり

淸朝復辟運動魂膽
獨逸の尻押しで宣統帝妃選定運動

淸朝復辟派は過般來隱密に北方各督軍の意嚮を確めつゝありしが二週間前張督軍の許にも密使を送りしが之に對し督軍は大勢帝政に傾むかば贊成を辭せずと答へたる事確實なり而して復辟運動の裏面には獨逸の尻押あり獨逸は宣統帝の獨逸留學を運動し又獨逸人なる段總理、顧問大人等を通じて獨逸の內親王を宣統帝妃に選定す可く運動し居れりと傳へらる（奉天特電）

兩氏軋轢落着と善後策

馮、兩氏の衝突事件は漸く落着せるも政府は事態重大なるを以て徹底的善後策を圖る爲め特に前將軍趙爾巽氏を派し趙氏は二十八日夜奉天に到着したるを以て文武官の往來頻るが如く從つて鄭家屯謝罪履行も尚二三日遲延するに至るべし（奉天特電）

特使公式傳達

本邦駐剳支那公使館員王熊年氏は二月二十七日外務省に出頭し還日特派專使として汪大燮氏を選定し政府の名を以て任命したりとの本國政府の命を傳へたり（東京特電）

出超六百卅萬

大藏省の調査に係る二月下旬の中國貿易は輸出に於て生糸、絹物等增加せるも銅、絹絲其の他の減少に依り前旬に比し四分八厘を減少し三千六萬九千圓を輸入に於ては眞綿皮革等に於て減少せしに拘らず綿花、鐵等の增加に依り三割二分を增加して三千三百七十六萬三千圓を示し差引六百三十萬六千圓の輸出超過を示せり（東京特電）

陸氏釜山著發

前駐日公使陸宗輿氏は一日午後九時著列車にて釜山著釜山驛在支那領事及官民の出迎を受け同十一時發列車にて北行せり（釜山特電）

東拓移住規則改正內容
東洋拓殖會社總裁 石塚英藏氏談

▲移住規則改正 移住規則は明治四十三年九月制定し大正四年四月之を改正したるが今回第八回移住民の募集をなすに當り從來の經驗に鑑み移住民に對する土地讓渡及び移住費貸付方法條件を改め其の保護を厚くし移住地の設備を完整し土著の基礎を安固ならしむると共に移住民の選擇に就ても募集方法を改正し一層銓衡を嚴にし素質の精選を期せんとす今改正の要點を擧ぐれば

▲移住民の種別 最初移住民の種別は甲種（二町歩以內の自作農）乙種（同上小作農）とし十戶以上團體を組織するものを團體移民と稱したるを先年之れが改正をなし第一種（二町歩以內の自作農）第二種（十町歩以內の地主農）として團體は五戶以上に改めたるが今回更に團體を廢止し又純農業者以外に教員、醫師、僧侶及び半漁半農移民の爲めに特別例を設けたりしが更に之を擴張せり

▲團體移民の廢止 （二町歩以內自作農）は團體單戶に區別し五戶以上團體を組織するもの團體移住民と稱し移住費として一戶に付必要に應じ二百圓以內の資金を貸付したるが團體移住民は土地及移住費の償還に對して連帶義務を負ひ團員中に意志薄弱又は資力微弱不十分の者ある場合には却て團體の成功を妨ぐる事あり又一方單戶移住民に在りても移住後一兩年間は移住費の貸付せざれば經營難なるもの尠からず仍て今後は第一種移住民には全部移住費を貸付することゝしたり已に單戶移住民に移住費を貸付する以上は團體單戶の區別を存置する必要なきを以て團體移民の制を廢したり（移住費貸付に付ては別項移住費の項參照）尤も團體移民は廢止するも可成鄉里を同じくする移住民を集團せしめて移住部落を構成し其の他組合の組織により共同の利益を增進せしむる等努めて團體的良風を馴致せんとす

▲第二種移住民 一昨年の改正により新に設けたる十町歩以內の地主農移住民は內地農村の中流以上の子弟にして農學校卒業者又は篤志家、資產及び經驗を有する堅實なる農業者を招致する趣旨に出でたるものなるが其の世間に歡迎さるゝに不拘期の應募者少なかりしは主として移住の際の一時拂込（土地代金の二分の一以上）金の調達困難なるに存するもの如し仍て今回之を改正して一時拂込金を土地代金の二分の一以上を四分の一以上に輕減し尚拂込殘額に對する利率は從來年七分五厘なりしを年七分に低下し以て多數の第二種移住民を招徠し第一種移住民及び附近農業者の指導提撕に當らしめんとす

▲半農移住民 從來本會社の移住民は純農以外には半漁半農者及び醫師、教員、僧侶に限りたるが今後は本業の傍、農業に從事する者例せば大工、鍛冶工、左官又は鑛山業其他村落に伍し商工業を營む者にして農業を兼營する者にも移住民として適當の耕地を與へ純農者と相俟つて移住部落の構成を助長せんとす

▲特種移住民
（イ）土地の開墾、鑛山業其の他拓殖事業經營者の業務に從事する傍ら農業に從事する移住民には經營者の連帶保證の下に本會社の移住民に準じて別に本會社の第一種移住民として之を承認し年賦償還の方法に依り土地讓渡及び移住費を貸付し又土地のみを讓渡することゝしたり
（ロ）前項拓殖事業經營者の業務に從事する者は勿論其他本會社が必要と認むる者には移住費のみを貸付する途を開きたり

▲土地の讓渡 從來規則によれば移住民は移住の際會社の土地を借受け其の土地代金（團體移住民は移住費を加ふ）を二十五年以內（內五年以內据置）の年賦償還の方法により償還するものにして年賦金の完納後にあらざれば土地の所有權を讓渡せざりしが之を改正し當初より移住民は自己の土地たる觀念を有せしめて而して（一）移住後五年を超え（二）土地代金移住費の二分の一以上及び租稅相當額を支拂たる者には直ちに所有權を移轉し之を未償還額の擔保として抵當權を設定することゝなし可成速かに土地の所有權を移轉し移住民として土地に對する愛著の念を深からしめ之れが利用改良を增進すると共に營農資金の調達の途を開き永住土著の基礎を成さしめんとす

▲土地の買入讓渡 每年一般に募集する移住民以外に團體を組織して第一種移住民たらんとするものには自ら土地を選定して買入を請求するときは其の請求に應じて希望地を買入れ之を貸付したるが今回之を擴張して第一種第二種の區別なく五戶以上申合せ同一箇所に移住せんとするときは之れが請求に應じ希望の土地を買入れ讓渡すことゝなせり

▲利子納入の猶豫 移住初年は農法氣候風土等に馴れざる爲め內地の農作法を其儘行ひ意外の失敗を招く虞あるを以て本會社は之等に對して農事講話印刷物配布其の他直接指導を爲し居れるも兎角初年は十分の成績を擧げ得ずして會社に對する義務金の納入困難なる者多く之を強て納入せしむるに於ては往々次年の經營資金に不足を生ずるものあるを以て今後は移住初年に於ける土地代金利息の納入を猶豫し翌年以降償還期間に配賦支拂する便法を設けたり

▲移住費の貸付 移住費の貸付は住家納屋の建築購入費耕牛農具購入費の補足に充當するため第一種團體移住民に限り金二百圓以內を貸付したるが改正の結果第一種移住民全部に貸付することゝし移住後の農業資金供給の途を擴張したり加之別項の如く（移住民保護參照）第一種移住民には移住の初年住家の建築購入の補助として建築材料及び購入費の一部を補給することゝなしたる爲め從來第一種移住民は全部前項により金二百圓以內の資金の供給を受くるの外必要に應じ家屋建築の補助を受くることゝなれり

▲利子納入の猶豫 移住民は移住後一二年は農事經營費其の他種々の經費を要し支出著しき爲めに會社に對する義務金の納入困難なる者多きを以て土地代金利息に付ては移住初年に於ける移住費貸付金利息の納入を猶豫し翌年以降償還期間內に配賦支拂ふことを得せしめ移住初期に於ける負擔を輕減せんとす

▲移住民の保護 從來移住民に對しては土地、移住費の長期低利の貸付以外に
（イ）種苗、肥料、耕牛、農具等の貸付
（ロ）汽車、汽船賃及携帶品運賃割引券の交付
（ハ）移住地に對する教育、衞生等の施設及施設に對する補助
（ニ）西、北鮮移民に對する朝鮮內汽車汽船賃の支給及住家設備費の補助
（ホ）天災其の他災害に因る場合の救濟
等諸種の保護を加へ移住民の成功を助長せるが今回更に

▲住家建築購入費補助 從來移住民の住家は其の希望により移住前に會社にて建築買入又は借入をなし必要と認むる時は假泊所を建築して收容し來れるが今後は移民が自ら住家を準備する場合には材料の斡旋を爲し必要に應じ其の建築又は購入の補助として材料又は購入費の一部を補給することゝし以て生活の根據を確保し移住地に對する施設と相待ちて永住者を獎勵せんとす

▲移住地に對する施設及び補助 移住地に對する宗教交通上必要の設備として從來は學校、醫師招聘に對する補助の外掘抜井戶又は普通井戶の掘鑿及び補助を爲したるが今後は移住部落の形成に要する道路排水等の設備社寺建立僧侶の招聘等交通及び宗教上の施設を爲し及び教育衞生上の施設も亦一層の整頓を圖らんとす

▲邊陬地方移民特殊保護 前記（二）の保護以外に新に割當面積の增加、土地讓渡、移住費貸付等に關する特殊の保護を加へ其の區域も單に西北鮮地方と局限せず邊陬の地方に移住する者に對しても適用することゝし爲し南鮮地方の交通便利、土地肥沃なる地方に比し特別の便宜を與へて適當なる移住民の招致を講ぜんとす

▲生產獲得物の販賣斡旋 移住民に對し地方に適當なる副業を獎勵し又組合等を組織せしめて肥料農具類の共同購買並に生產獲得物の販賣等の斡旋をなし收入の增加を圖らんとす

▲移住民の撰擇 移住民の撰擇に就いては從來最も意を用ひ來りしが

▲募集方法 從來最も道廳の斡旋に依り來りしが種々の不便なる點あるのみならず從前の取扱方法によれば事務の敏活を缺く虞れあるを以て今後は內地に出張所を常設して比較的應募者多き地方即ち九州中國四國など其の管區とし之を數區に分ちて擔任者を派遣して密かに本社の植民事業の狀況を說明し植民思想の普及に努め且親しく希望者の居村に就きて移住申込者に接し性行身元信用及び移住民としての適否を充分に調査し其の調査に基きて認否を決定し以て移住民の素質の精選に努めんとす

▲申込手數の改正 移住申込書は現住地の市區、町村長（朝鮮在住者は府尹郡守）の證明を受け地方廳を經由して會社に提出する順序なりしが申込書の本會社に到達するに多數の日子を費し事務の敏活を缺く虞あるを以て今後は地方廳を經由せず直接本會社又は內地出張所に提出せしめ申込書受理次第可成速かに認否を決定することゝなしたり

要之改正規則の要旨は土地讓渡並に移住費貸付に對して多大の便宜を加へ純農業者以外に農業兼營者の移住の途を開き拓殖事業經營者の爲めに其從業者に對し土地の讓渡若くは移住費の貸付上利便を供する外第二種移住民の一時拂込金並に利率を低減し以て之が招徠に努めんとす而して今後移住民の指導に一層力を用ゐ常に社員を巡回せしめ農事上の指導副業の獎勵は勿論組合を組織して共同購買販賣を斡旋し其の生活の向上を計ると共に移住地の選定に一層周到なる注意を拂ひなるべく十五六戶以上集團せる部落を作り各部落間の連絡を圖りて教育宗教衞生及び交通等の設備を完整せしめ其の他諸種の施設に對して補助を與へ從來に比し一層保護を厚くし更に募集の方法を改正して堅實なる農業者を招致し將來移住民の成功を圖り殖民事業の發達を期せんとす

慶北米作收穫高

慶北道廳調査にかゝる大正五年度慶北各郡米作總反別は十二萬九百五十三町八反にして反別の最も多きは尙州郡の一萬一千七十四町歩、達城郡の八千七百三十六町歩是に次ぎ收穫總高百五十八萬六石、收穫の最も多きは尙州郡十三萬三千百七十五石是れに次ぐは達城郡の十二萬五千二百三十四石、粳米一反步平均收穫一石三斗一升七合、反當り最收は鬱陵島の一石五斗三升二合是に次ぐは淸道郡の一石五斗、高靈郡の一石四斗八升にて水稻作付反別前年に比し著しく增加を示せるは插秧期に際し降雨潤澤なりし爲め插秧を完了せるに依り達城、高靈、慶山及び淸道各郡の水稻作付反別前年に比し著しく減少せるは土地調査に依る增加反別を計算外にせし爲めなりと（大邱）

憲兵隊軍醫會議

憲兵隊司令部に於ては一日より三日間同部會議室に於て毎日午前九時より午後四時迄伊藤軍醫正統裁の下に軍醫會議を開く出席者は各隊軍醫九名と司令部軍醫並に警務總監部衞生課首腦者等にして一日朝九時古海憲兵司令官の訓示演說ありたり

鮮銀各店長上京

朝鮮銀行にては間島支店開設其他の事務打合せの必要上長春哈爾賓浦鹽營口各店長の上京を促したるが多分二日の列車にて阿部安田榊原木原各店長は入京し來るべしと

兩氏送別會

京畿道警務部在勤より今回忠淸南道事務官に轉任したる西脇賢太郎氏及び新義州警察署長に轉任せる眞野景象氏に對し道警務部及び憲兵隊本部員は來る四日午後六時本町五丁目料亭梅の家に於て送別の宴を開く由

木曜會例會

二日午後六時より京城木曜會例會を京城ホテルに開會する由なるが席上平井專賣課長の支那視察談ある由

勸業技術員會議

京畿道にては管內各勸業技術員を召集し一日より六日間構內宣化堂に於て技術員會議を開催一日は諮問事項に對する答申あり三日は松永長官の訓示ある可しと

小牟田警視著任期

京畿道警務部高等警察課勤務に轉任せし元大邱警察署長小牟田重太郎氏は來る十日頃著任の豫定なりと

加藤經理課長歸任

豫て大連へ出張中なる鐵道局加藤經理課長は二日朝龍山著列車にて歸任の筈

支那視察員派遣

日支の親善日に厚きを加へんとする今日我社は這回聊か貢獻せんが爲南北滿洲視察團を企畫し四月上旬を以て出發視察の途に上らしめんとし更らに今回

經濟部長 中島司

を南北支那に特派し親しく實況を視察せしめんとす氏は三月二日朝京城出發天津、北京、張家口、漢口、上海、濟南、青島及び其他の各重要地並に南北滿洲を巡視し政治に經濟に其他百般現時の支那を縱觀横視せんとするが故に氏獨得の觀察は毎日通信となりて本紙上を飾るべし

人事消息

▲木原小平氏（松田銀行支配人）一日夜入京不知火へ
▲大橋總男氏（久原社員）同上天眞樓へ

南言北語

古島一雄君の貧乏も選擧名物の一つとなつたが與樣は何か一度でも可いから浪費といふものゝ顏が見て見たいと日頃の願ひ所が思ひ叶つて先達の議會解散當一箇月分の百六十六圓六十六錢と云ふ歲費の片割れがお目通りに及ぶと▲與樣死んだ兒にでも會つた程喜んだのも束の間すぐとフイ▲與樣見送つて曰く『矢張り手斷にかけぬ見はだめですね』▲近く佛賀界を引いた斯界の元老小池國造君が一日早稻田に大隈侯を訪問した▲侯は早速面會して滔々歐洲戰爭を論じ出したがサー何時盡るとも知れない▲小池君も堪り兼ねて自分の要事を話さうとすると侯は一向頓着なく益々勢ひ込んであるんであるんであるを連發▲サア內他の客が來たので小池君は一言をも發し得ず汗を拭ひ〳〵歸つたとは隈侯の大出來か小池君の失敗かと早稻田邊での評判▲本野外相の和服論に曰く『僕は日本服裝をかう思つて著用して居る▲白襟紋付が燕尾服唯の紋付羽織袴はフロック袴丈け著けるのはモーニング縞や飛白の羽織が背廣』▲先般渡歐した菅原通敬君は身裝等には殆んど無頓著な性でネクタイなどは何時もカラーから上に飛び出して居る▲處が今度洋行するので友人等は『君も洋行でもすれば少しはハイカラになつて歸つて來るかナ』▲と言ふと『いや、ハイカラはネクタイで歸つて來るよ』には一同驚いた相な▲果して何の樣な姿で歸つて來るかと友人等は今から樂んで待つて居るとか

北滿より

市街市家何水晶街住高玉寒所有の[illegible]道南部支線長春哈爾賓間運轉二十一減少せるを以て之亦二十八日より廢[illegible]又各寫眞屋に鐵道附近の風景及び工[illegible]の募集を行ふべく目下著々準備中也[illegible]進行中なり（長春）
現在市面は稍や恢復し家匪は城內に[illegible]商民は自由[illegible]

家庭繪本文庫
毎月二冊發行｜會員募集｜會費毎月壹圓

見本は往復葉書を以て請求せられよ
戶外に娛樂を求むるは家庭に其設備なきが爲めなり本文庫は即ち家庭的娛樂の機關として生れたるものなり歷史小說冒險小說軍談等當代一流の作者の筆になり然かも一流の畫家によりて每頁插繪を插入したれば座ながらにして芝居及活動寫眞を見るが如し

種彥諸國物語……柳亭種彥作 歌川國貞畫
國字水滸傳……山東京山作 歌川國芳畫
殺生石後日怪談……曲亭馬琴作 歌川貞秀畫
兒雷也豪傑譚……柳下亭種員作 歌川國貞畫
新編金瓶梅……曲亭馬琴作 歌川國貞畫
繪本太閤記……法橋玉山畫作

非營利的大出版
和紙和裝、半紙判木版手摺
極彩色口繪入、插繪二百餘
箇紙數二百頁（一ケ年完結）
三月第一回配本

申込所 東京京橋區南傳馬町 國書刊行會 電話京橋 振替東京

移轉廣告
今回都合に依り左記の處に移轉仕候
京城府明治町一丁目五十番地
朝鮮總督府許可 人蔘エキス製造發賣入藥種商
小笠原大藥房
電話一九四八番 振替口座京城三七五三番

婦女界三月號 本日出來

兩妃殿下の御事……片岡祝子
▲北白川宮竹田宮兩妃殿下は御自らの御琴上げは勿論、若宮姫宮樣の御世話まで御自ら遊ばされます此の記事を讀んで發奮しない方はございますまい
夫婦間の愛を培養せよ……鳩山春子
婦人の愛誦すべき教訓……棚橋絢子
私の世話して居る苦學生……嘉悅孝子
食物に關する傳說と迷信……澤村博士
幸福を求むるの道……都河主幹
若き母親の爲めに……吉田學士
麻疹の徵候と其手當……下平學士
惡疽は何故危險か

主婦の讀物
▲桃の花の皿敷……津田敏子
▲雛祭に用ひる插花……岡田廣山
▲手輕な桃の節句料理……服部茂一
▲磯松風を用ひた洋食數種……北原十三男
▲山毛はどうすれば直るか……麥山廣不
▲汚い色を鮮明に染直す法……セイノ生
▲素人養鷄の手引……市守龍吾
▲家庭禮法問答……千葉晉子
▲重寶な主婦の仕事着
▲振替貯金の利用法……一記者
▲千圓の貯金を得んとする我家の家計

柳川春葉作 鰭崎英朋畫
家庭小說 世間（五十枚の原稿大掲載）
『生さぬ仲』『二人靜』の作者として文壇に風靡せる柳川春葉先生が他の一切の雜誌を斷りて本誌にのみ執筆さるゝ『世間』は先生の血と涙で綴られたものです何卒是非お讀み下さい
本誌獨特 挿繪小說 心の華……小山內薰作 石井滴水畫
本誌新案 映畫小說 少年男爵……千葉春村作 石井滴水畫
一冊十七錢郵稅一錢五厘 半年分一圓廿三錢
東京市牛込區加賀町一ノ廿四 婦女界社 振替東京二〇二八三番

小兒科專門 中谷醫院
京城大和町三丁目ばんざい門下 電話一〇三三番

……の悲境に陷りたるは滿洲同業者の窮……態にありと……必ず踵へざる次第なるが哈爾賓支那……

▲長哈線時間變更 東清鐵……又從來哈爾賓滿洲里に毎週三回宛運轉し來りし二十一二列車は近來乘客……め鐵橋及びトンネル通過の際は乘車客の窓外を望むを嚴禁し來れるも今……る者 北京政府の默許を得て數萬苦力……

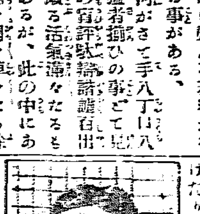
一人一藝

◇中學時代に始めて 卅年近い大久保辯護士の碁

回裁判所の控室にむち合ふ辯護士連中の間には時間消しの一二面が盛んで時に盛んな碁戰が行はれる事がある、

回何ぞさて手八丁口八丁の猛者揃ひの事とて見物連の寄評駄辯護諸雜出して頗る活氣滿々たるものがあるが、此の中にあつて悠々閑々綽々たる餘裕を示し一石も苟せずにパチリ／＼と打つてるのが大久保さんだ

回辯護士仲間では群を拔いてゐる『囲碁を職業としてゐる正眞正銘の初段に向つては先でなくては敵はないが――』と言つてるだけに近頃初段の免状を取つて京城の素人仲間で覇を唱へてゐる佐藤花柳病院長と互先で負けたり勝つたり先づ田舍初段の格



回京城の素人で初段に近いところは李王職の博物館に勤める若林といふ老人、遞信局の岡本庶務課長、司法部の横山氏などで、京城位の人口を有する内地の都市に比べると割合に京城には强い人が多いさうだ

回大久保さんが碁を始めたのは中學に通つてる時代からだから三十年近くになる、裁判所では朴勝彬といふ辯護士が一目置いて大久保さんに向ふが、此の對戰が頗る面白いさうだ何故かといふに

回朴さんは下手ではあり、朝鮮流で始めから戰を挑む、之れを碁の要語では利權獲得に始まつて外交に移り次ぎに戰ひを開くのである、とでもいふやうな主義から大久保さんは輕く避らひながら地取りと出かける

回敵の攻むる事愈々急なるに及んで漸く應戰して結局亂戰混戰に終るからである、大久保さんは碁は好きには好きで外へ出ると相手の甲乙を問はず戰に應ずるが、自宅では決して盤に向はぬ事にしてゐる

回それは自分の家で碁を囲んでゐる時に來客があつたりすると已むなく用件に移らなければならぬので席を立つと自然相手に迷惑をかける。之れが氣の毒であるからだといふのである

回大久保さんの碁は全くの年の功ともいふべきもので、松山で二週間ばかり習つた事があつたきり、全くの獨修で、近頃は新聞や雜誌に名人上手の對局が毎日出るから、これさへ見て居れば別段指南を受けるには及ばないのださうだ

●親孝行もの へ百二十圓

死んだと思つて居た長男から

京仁線富平驛前大井里に趙聖浩（三〇）といふ朝鮮人が住まつて居る妻の朴と其の間に生れた三人の子供とそれに今年六十九歳になる老母と

◇一家六人で しがない生活を營んで居るが趙聖浩も妻の朴氏も感心な親孝行者で貧しい暮しはして居るもの、何時も一家は和氣藹々として此の邊の内鮮人から褒められて居るがつい此の頃趙聖浩の處へ南米智利のアントフアガスタから一通の書面が到着し續いて横濱正金を經て百二十圓の金が來た趙聖浩は孝行者ではあつたが自分が小作位の水呑百姓なので老母の朴氏が僅かばかり稼ぐ賃錢から

◇儲けるお金 で一家六口を糊ぐのだから思ふ如うに年寄の母を滿足させる事が能きなかつたが意外の處から百二十圓といふ金が這入つて來たので平和な一家は更に光がさし其悦びに輝いて來た南米智利から金を送つて來たのは趙聖浩の兄で

◇二十年も前 に家出した切り風の便りもなく全く死んだとばかり思つて居つた趙文桓といふ今年四十二歳になる男だ、兄の趙文桓が二十年前に家出した頃趙の一家は仁川の龍洞でさゝやかな商業を營んで居たが兄の文桓は或人の世話で其の頃港に航行の汽船漢城號のボーイに雇はれる事となつた風俗の惡いボーイの仲間に這入つた文桓は父の趙永瑞や弟の聖浩が僅かばかりの

◇商法に苦勞 して居る事も忘れて給金もお客から貰ふたポチも遊々で使ひ變なく皆な費つて終ふとればかりでなく時々家へ歸つて來ては母親の臍繰金を强請つて行くと言ふ風だから家計は益々困難に成つてゆくばかりであつた、然しながら元來が馬鹿でなかつた文桓は或日つく／＼自分の

◇生きて來た 道の間違つて居つた事を悟つて斯うして居つては成らぬこれは行く／＼兩親や弟と一緒に滅びの淵に陷入れて終はなければならぬ、これは何んでも斯んなノラクラした生活を脱して額に汗を流して働かなければ駄目だと感付いたので直にボーイを止めて少しばかり其の折持つて居つた金を資本にして日本人用の下駄、足袋、衣類などを仕入れ家族には無斷で浦鹽方面に行商に出掛けたこれが家出した時で夫れ以來二十年間全く

◇音信不通で あつたのだしかし少し許りの資本で馴れぬ商法を始めた文桓は手もなく失敗して木から落ちた猿同然の身の上に成つた今更喰へなく成つたと云つて實家に歸る事も能きないしするから彼は浦鹽港の船に頼んで長崎に連れて行つて貰ひ其處で人夫稼ぎを爲て居つたが元から野良久良して居つた

◇ボーイ上り の彼が俄かに勞働したつて到底い貯銀に成りさうな答もなく斯して其處彼處と廻り廻つて歩いた末十四年目に……家出をしてから六年目に智利に上陸した此の頃は多少の貯蓄も出來て居つたので其れを資本に種々の商法を營んで苦勞のありつ丈けを仕盡したが其後相當の資産も出來たので南米人の娘を娶つて同棲して居るとの事であるが忘れ難いのは

◇故郷の兩親 と弟の事だそれで久しぶりに今年の一月遙々手紙を寄せて安否を尋ね前記の金子を送つて寄越したのであるが父の趙永瑞は長男の文桓が家出してから一度も便りが無くその上商法は手違ひばかりで遂に仁川にも居溜まらず成つて富平驛に移轉する事に成つた次男の聖浩が優しく慰て呉れるのでそれを力草に一昨年の秋病死し母親も文桓の身の上を案じ暮して居る矢先きの事とて一家は譬ふるものもなく悦んで居る（仁川）

●鶴田吾郎畫伯 露西亞へ漫遊

付て本社繪畫部にあつて朝鮮風物の頗る敏なる研究を續けつゝあつた洋畫家鶴田吾郎氏は其後東京府下大森に移りスケッチ倶樂部を起し傍ら特色ある

◇製作に耽つて 居たが今回多年來の素志なる露西亞遊學を決行し來る五月中旬出發のことに決定したに就て、滿谷國四郎、平福百穗、森田恒友、中村彝、川端龍子、小川芋錢、森井逸吉、辻永、倉田白羊、小川千甕、大庭柯公、星野水裏氏等の文士畫伯の發起で

◇同氏後援畫會 を組織したが其會規によると、畫は唐紙半折とし凡て紙表裝つき、會費は三圓五十錢であるが作畫は申込の順序で會費と引換に渡すけれども大半出來濟みだから決して頒布に時日を要せぬとのことである、入會申込期日は三月三十一日まで、申込其他一切の要件は府下大森新井宿千四百五番地同事務所宛とのことであるが尚

◇露西亞で製作 した油繪を頒つのを特殊後援としこれは純藝術作品を得る目的で會費は五十圓以上、……

鶴田吾郎畫伯の自畫像

よく作品は露西亞から自信あるものを選んで送ることにするさうである鶴田畫伯は純粹な藝術家氣質の人で道度も露西亞へ行つたらペトログラードに直行し

◇勞働者や學生 の群に入つてモスクワとの間を描いて廻ると言つてゐる

●家の中をもつと暖かく爲たい

いろ／＼の裝置

◆熱湯暖房 是れは前者より以上に完全なるものにして前者より比較的小なる建物にも用ゐられる。而して前者の樣なヴォーターハンマリングが出來ぬ、暖かさも前者よりも和らかにして氣持がよろしい。病院、住宅、官邸、寄宿舍、動植物の温室等の如く、晝夜採暖の必要ある家には最も適當である、然るに此の缺點とも言ふべきは、本年の如く嚴寒に夜間鐵管及び放熱器内の水が凍つて破損する樣な事がある（蒸汽暖房にても同樣）然し之れは使用者にて少しく注意を拂つたら充分に防ぐ事の出來る故障である。前者二つの暖房裝置は、設備の法式によりて、多くの種類に分類せられる。蒸汽暖房は重力式、ウエブスター式、ポンプ式、熱湯暖房は、普通式レツグ式に分たれる而して此の各法式は各々直接暖房、間接暖房、或は之れ等の總法式を折衷具風して各々其の使用者の望みを滿足せしめ得る暖房裝置が出來るのであるが、此の選定方は專門家に一任するの外はない。前に暖房裝置は大建築物には適しておるが、小家屋には不向きと申したけれど、近頃二三の家にてもより／＼に組合を以てする時は、大建物と同樣に此の完全なる暖房裝置を經濟的に設備する事が出來ると思ふ。又現今の電氣、瓦斯、用水等の如く、會社組織を以て、蒸汽或は熱湯を供給する樣にしたら、至極便利なる事と確信する。現に米國の都會にて、スティームサツプライ、コンパニー（蒸汽供給會社）なるものがある樣に聞いてゐる。今我京城に於て暖房裝置のあるのを擧げて見れば次の樣である括弧内に蒸とあるは蒸汽暖房、湯とあるは熱湯暖房の意味である。

△龍山總督官邸（蒸）△南山總督官邸（湯）△南山總督官邸植物室（湯）△昌德宮内殿（湯）△總督府（湯）△同石造殿（蒸）△同教殿（湯）△同藩殿（湯）△總督府病院（蒸）△京城郵便局（蒸）△印刷局（蒸）△鐵道局（同）△同病院（湯）△朝鮮ホテル（蒸）△同植物室（湯）△朝鮮銀行（蒸）△商品陳列館植物室（湯）△李王職植物室（湯）△同動物室（湯）△朝鮮商業銀行（蒸）△漢湖農工銀行（湯）△三井物産會社（蒸）△東亞煙草會社（蒸）△京城東大門病院（同）△紐育スタンダード石油支店（湯）△共同火災保險會社（湯）△京城敬神女學校（同）△李花學堂（蒸）△京城高等女學校（湯）

◆ペチカ 此れは露國に廣く用ゐられてゐる。ストーブに類似のものであるが蓄熱と云ふ點によほど考へてあるから寢室等には適してゐる

◆電氣暖房及電氣炬燵

●飛行協會の對抗飛行

千葉縣下志津町へ飛行協會の佐藤練習生は陸軍側の野外飛行に對抗し眞壁中尉監督の下に單身第三十八號機を操縱し一日午前七時十五分千葉縣下志津行飛行を行ひ七時三十分無事目的地に着陸せり（東京特電）

●所澤より水戸へ

卒業飛行

三機雁行して

陸軍航空隊第五期卒業將校の所澤水戸間飛行に一日午前七時三十分所澤を出場し當日使用すべきモ式第三十一第四十三第四十四の三機を引き出し發動機及び牽引力の試驗を行ふ其の中風勢愈々激しく爲めに飛行中止とならんかと氣遣はれしが間も無く風稍凪ぎたるより鳴瀧隊長は斷然出發命令を下せり依つて操縱將校松岡中尉は第三十一號機に神谷少尉は第四十三號機に和田少尉は第四十四號機に搭乘し何れも四百米突の高度を保ち烈風を衝いて大宮方面に飛翔し去れり此の時地上の風速は二十二米突を算し三機相前後して九時二十分群衆歡呼裡に水戸聯兵隊に着陸して午後一時十五分再び三機雁行して出發歸航の途に就きたり（東京特電）

此れは最も進歩したる採暖法で頗る體裁も立派なものではあるが費用が多くかゝる爲めに未だあまり實用に供せられてゐない樣である（をはり）

●僧侶を縛上げ頭骨を碎く

不敵の强盜就縛

全南順天郡双岩面槐木里仙岩寺記助庵に大正四年四月二十五日夜數名の賊侵入し内二名は住持金璧雲（五五）の室に到り同人を縛り上げて出金を迫りたるも無き旨を答へたるより門外の柿の木に縛りつけ石を以て頭部を亂打し頭蓋骨を破りて即死せしめ他の者は寺僧權秉淳（十九）を縛り上げ猿轡を篏め短刀にて斬りつけて負傷せしめ現金白米合計十七圓を强奪して逃走したり爾來犯人嚴探中の所此程泰仁憲兵分遣所の手に順天郡松光面北安里の朴春化（三八）を引致し取調べの結果悉く罪狀を自白し尚共犯者は同里の朴光春（三）朴成淑（五六）金正守（三）金致範（四〇）なること判明し何れも引致取調べの上檢事局送り

●水の中で座禪

を組んだ樣な姿で絶命

咸陽郡崇仁面安岩里卓熙龍（六七）は昨年子息病没後精神に異狀を來し家人に厄介になり居たるが精神に異狀を來し家出し二十五日午前四時頃無斷家出し小刀を以て前頭部に斬りつけ長さ約一寸位負傷せしも死に切れず更に腹部に數箇所の刺傷をなしたるも尚絶命せざるより同里卓基昌方の井戸深さ一丈五尺水深二尺位の中に投身し恰かも座禪を組みたるが如き姿にて絶命し居るを發見し京城分隊より憲兵警察官出張檢視の上屍體は家族へ引渡せり

●貧困から自殺

京畿道揚州郡芦海面雙門里盧興根妻金氏は貧困の爲め幼兒三名ありながら常に家庭に風波絶わざるより之を苦にして去る二十二日夕刻多量の苦汁を仰ぎて自殺を遂げたり

●解雇されて惡事

長崎縣西彼杵郡神浦生れ京城太平町二丁目居住池野丈夫（二九）は本町日韓書房より解雇せられて立去る際二月二日及び三日の兩日に國寶大觀外十五種の書籍二十四冊（約十六圓）を竊取して質名入質し同月十六日には仁寺洞得能某より羽織一枚マント一枚を借著し龍山彌生遊廓みふのやに登樓遊興し其の遊興代に借用の衣類を提供したること發覺し本町署に引致さる

●家出女

去る二十六日の午後六時頃釜山南濱町料理店芳千閣裏手の海岸にて年若き一人の女が將に投身せんとせるを發見し近所の人々は早速幸町交番所へ届け出でたるより巡査が駆け付け連れ來り取調べしに此女は愛媛縣今治町松本はな（一九）と云ふ者にて此程近綵町一丁目松井方に厄介になり居たるが二十五日投身せんとせるものなる由判明し附近の深堀牛肉店主は同女を憐みて一時引取りたるに翌二十六日又々無斷家出し行衞不明なりと（釜山）

◉賀生會謠曲會 京城賀生會にては四日午後一時より壽町有明樓に於て謠曲會を催す由番組次の如し

▲嵐山小池氏ツレ淺井氏▲ワキ大島氏▲羽衣西澤氏岡澤氏奥山氏▲草子洗吉賀氏貴小池氏王松井氏立佐藤氏六浦氏▲富穗岡田氏篠田氏高砥氏番外▲景清山田氏ヒ三浦氏ト高島氏足立氏

▲グール博士は此間釋典に列して金允植子爵が八十二歳の高齡で初獻官として高い階段を幾度も登つたり下りたりするのに痛く同情を表し▲早速其日通譯の鮮人を伴うて金子爵を訪問し別に老躰お障りはないかとのことに金子爵も悦び厚意を謝して暫く四方山の話に興じたといふが博士も子爵も高齡を以て各道のために盡す人同士で此事あるは近頃書くも嬉しい話である▲昨年の三月一日夜京城若草町の大火のあつたことは未だ忘れもやられぬことであるが早や滿一週年に達した其の消防に努めた常備消防隊の人々は何れも當時の模樣を想起して昔語りをやつてゐたが▲其の一員は『彼の時の苦戰のことは忘るべからざる吾々の記念日である』と言つてゐた併も現在の水管自動車があの際にあつたならば彼程に大火には成らずに消し止めたであらうと今更のやうに消防の利器を賞讃してゐた

▲尊い淡水と石炭（六）

機關兵補生より

以上で大抵吾々機關兵補生の日課も解つたらうと思ふ、で今度は艦内を案内して各部に就いて說明しなければならん君ソラッ鐵の甲板は滑つて危險だ、氣を付け給へ、吾々は油の浸み込んだ鐵格子の上も鐵梯子の昇降も平氣で活動するが君等の樣な履付きちや、見てゐる方がハラ／＼する手摺に掴まつて緩々臨いて來給へ、……君此の蒸化器と言ふのは航海中淡水の缺乏を補ふ爲めに鹹水を此のタンクの中に入れ鹹度を沈澱させて生水を作るのであるが約三十噸位の眞水は僅かの中に蒸溜させる事が出來る、只蒸化作用に依つて取た水は有機物を含有して居ないから味の不味く下痢を起し易いので

◇空氣に 曝して飲用に供する樣にして居る、一體艦に於て何が尊いかと言ふに淡水と石炭が一番大切で此れが盡きた時は即ち艦の生命が休止する時であると思はればならん、殊に水の缺乏は千餘乘組員約四百名の生命に關る大事件となるので甲板部では水當番と言ふのがあつて水の盜用を防ぎ、規定以外の水へ給與せない事になつてゐる、兵卒には朝の

◇洗面に 五合士官には一升、何合東郷大將には二升何合と言ふ割合で此れ丈けの水で顏も洗へば歯も磨き洗濯もする、若し夫れ特別勤務の際上官から慰勞として水何合と言ふ木札を頂戴の上は嬉々然として水當番から淡水を受取つて同僚に誇るに至つては君等の想像の外だらう、更らに眞水の風呂を唯一無二の贅澤だと言つて寄ふ將校士卒の顏付きを見たならば君等は何と思ふだらう

◇水晶の 如き水、ダイヤモンドの樣に光る水、否々私等に取つては水は水晶以上ダイヤモンド以上尊いのだ、後で案内するが機械室には復水器と云ふものがある此れは汽罐から出る蒸汽を……ボイラーで蒸汽となり、諸方面に送られて仕事をなした上復水器に這入ると抽氣ポンプで冷され、再び汽罐に返つて蒸汽となる、此間あれ丈の馬力を出し、電氣を起してもバルブから漏る蒸汽の外は……

◇一滴の 水の浪費も無いのだ、淡々として無限に湧き出づる水の一滴が斯くの如く節約されると言ふ事は船乘り以外何人も想像し得ないだらう、又は馬力を計る器械だが君等が宜く言ふ何馬力と言ふはシリンダーに取附けてある指壓器に依つて如何なる文盲の者にも解る樣に簡單に現はれるのだ一體船などでは一本一挺を無駄に非ざるは無しだが其れに如何なる機械にも……

◇片假名 がついて居る、此れなどは機關科員の簡單明瞭を貴ぶ精神の現はれであるが其の内面に於て日本人の精神を發揮した者だ、外にしては日進月歩の大勢に應じ内にしては國粹保存、私共其處に國家の干城の強さがある價値があるのだ（仁川）

京日案内

普通一回前金一行五十錢 番外一回前金一行一圓 一行二十二字詰
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戾せす
▲六回以上の御申込は特に割引
▲御照會の節は返信附にあらざれば回答せす
▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

◉代診生至急募集す 希望者は仁川支局へ御照會あれ（姓名仁川支局）925

見習看護婦大至急入用 希望者は至急來談 電二四六三 若槻小兒科内科醫院 旭町三丁目 628

女事務員入用 希望の者は履歴書携帯來談の事 黄金町三丁目朝鮮研究會 安藤病院横 京城新聞社 629

▲西村篤 居所知らせ後日後悔するな 母歸宅大病すぐ 兄

◉店員入用十七八歳位身元確實の人を要す京城明治町一丁目五十番地 小笠原大藥房 電話一九四八番 631

中古自轉車 格安品只今澤山持合あり ツツキ自轉車店 南大門通り三丁目電話三〇番 627

京城開合 乘合自働車 京城發 前八時 春川發 前八時 京城水標橋通り 電話二二三八番 京春自働車商會 支配人 松田壽男 622

◎鐵道局拂下古鐵 精々安價を以て販賣可仕候 龍山漢江通り電話五五二番 山中出張所 181

南大門通 京城春川間 每日午前八時卅分出發 京春自働車組 廣橋自働車 主務 金正淵 電話二一九番 621

英語科 朝鮮語科 新學期 三ケ月修業 各級補缺 募集 京城青年會 619

恩給 年金 證書 利貸 頼 的でなく極低利 御取次 南大門通漢城銀行向ひ 電車停留場約一丁半 京城吉野町一ノ二九 俵屋 965

商業登記公告

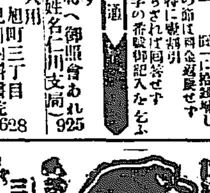
内國通運株式會社ハ大正六年貳月貳拾日目的ヲ「貨物運送（通常運送危險物保付運送）貨物運送取扱、旅客運送、倉庫業」ト變更シ且同日左ノ處ニ支店ヲ設置シタリ
京城府町貳丁目六拾參番地 東洋生命保險株式會社ハ武藏國北豐島郡千住町大字地方橋壹目四拾壹番地 宮下通七丁目左拾號 太郎及井上敏夫ハ任期滿了ノ處大正六年貳月貳拾日重任シタリ 石狩國旭川區 俊國久留米市京
右大正六年貳月貳拾六日登記
株式會社共益社監査役金乃翊、崔景璟、張錫術ハ各任期滿了ノ處大正六年貳月貳拾貳日重任シタリ
右大正六年貳月貳拾七日登記
京城地方法院

一、朝鮮土地調査局 右臨時土地調査局總務課長嘱託 參拾參萬枚 大正六年二月二十八日以降ノ詳細ハ官報ニアリ
臨時土地調査局

生徒募集
本年四月入學セシムベキ本校第一學年生徒約百名ヲ增募ス內約五十名ハ既ニ本校入學志願者ニ就キ採用ノ筈ナルヲ以テ其ノ學生モノ中ヨリ選抜シ受付ヲ延期シ本年三月三日迄ニ新ニ入學志願書ヲ受付ス詳細ハ三月二日以後ノ朝鮮官報ニ掲載スルヲ以テ承知セラルベシ
大正六年三月 京城中學校

▲山縣五十雄 村上唯吉 共著 富の道しるべ 價二十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

孫みち子儀葬儀の節は御多用中御會葬被下御厚情の段難有奉存御鄭重なる御弔詞並に御供物を賜はり混沌ながら御芳名も未だ承らず失禮有之候間乍略儀以紙上御挨拶申上候 敬具
大正六年三月一日
奥田貞次郎
同 建夫
親戚一同



かぜ ねつ 最良藥
アンチピリン丸
……印 商標に注意
效能 かぜ ねつ 流行性感冒 おこり 頭痛 マチ 齒痛
本品の三大特長 服用に苦痛なし 副作用なし 胃中に溶解し易し
十錠 十五錢 廿五錠 ……
本舗 大阪 丹平商會 賣捌は全國各藥店

最新刊
大正六年 最近朝鮮事情要覽 朝鮮總督府 特 一、二〇〇 六五
日本産業第一電氣大觀 日本産業調査會 二、二〇〇
小學校各科教授の實際的大研究 小學教育研究會 二、二〇
世界政策と極東政策 中野正剛 一、五〇
佛蘭西文學史 太宰施門 一、九〇
商業簿記獨修書 村田 岳八 一、〇〇
販賣力增進策 高城 寺良 一、八〇
英和對照商店英語 山口與之助 五〇
小資本商店新經營法 佐々木十九 六五
忠臣と孝子 坂本箕山 二、五〇
李義山詩講義 下森 魏南 特 一、〇〇
慰安と修養 武島又次郎 七五
歌に入るまで 金子 薰園 七〇
殺人と盗 花輪 鍾子 一、三〇
考古小説三千年前 江見 水蔭 六〇
男と女 日く氣にいらぬ百ヶ條 むら子 八〇
國産獎勵此の一手 云橋 六〇
ペン商業書式留字帖 吉良 象外 三〇
受驗必攜朝鮮六法要論 安達大壽計 四〇
同 法律 語 彙 坂上 網吉 特 七五
京城本町一丁目 振替京城二五三 電話六百八十三番 大阪屋號書店

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

九十四 梅が軒端『十七』の五

「先生さま、承知して下さりますだかの？」

老婆は、もう嘘詐りでなく涙ぐむで居るのであつた。

『倉橋さん、僕も先年、没くなられた貴郎の阿父さんから保證人に成て頂いて、早稲田へ通つた御恩もあるし爲ますから、必ず、貴郎の將來にわるからうやうと思つて、妹を押付ける譯ちやありません。無遠慮に云へば、貴郎のやうな天品を、此の儘平凡な畫家として埋もれさせたくないと云ふ同情的の心があればこそ、強てこんな御無理もお願ひするんです。殊にお見受けする所では、貴郎は此の五浦海岸の天然が非常にお好きなやうなんですから、若し今年の秋の文展に、題擧を諮ふと云ふ大々的決心を持ての御在の事なら、そりや支那朝鮮の大陸的風景も結構には違ひありますまいが、此の五浦の怒濤澎湃天に沖する壯絶の景色も穴勝不可と云ふ譯はないぢやありませんか。それには、我々母子のお願ひを背き入れて下すつて、平和に悠然と暢びりとした氣分になつた上で春夏秋冬……時々に變りゆく怒濤の色彩や、月雪の變化を染々と眼に心に受け入れて置くと云ふ便宜の爲めにも爲て下さつたら……いや、門外漢の僕が畫の講釋を爲るではありませんが、出來得べくんば、双方の利益になるやうな手段をと思ふもんですからね、つい……。』

門外漢には相違ないが、義郎の言ふ所も亦大いに專門家たる幸三郎の心を動かさしむるに足る丈の新趣味がないでもないのである。そして、母子は、左右から、涙の實情と義理の楯とを抱いて、靜々と責め付くるのであつた。

幸三郎の心は、益々迷つた。絹代の事はもう思ひ切つて斷念しやうか？、お靜さんの眞心が果して、それほどであるなら、絹代の眞心に慇るとも決して劣りはないのである。運命の浪にゆられて、遠ざけられた絹代には、俺まで氣の毒であるが、運命の浪にゆられて蹤なくも自分の船へ近いて來たお靜さんに同情するのも亦、世の中の順序であるかも知れない。好し！然う覺悟を決して、僕の此の大好きな五浦の怒濤に親しみ、怒濤に蹴上げられて昇る太平洋上の月を畫題にして、今年の秋の文展には、充分の名譽回復を期すると爲やう。去年は落下する百丈の瀑布を寫して失敗を招いたのであるが、今年は怒濤に煽られて上る明皎々の月である。担ぐではないが、幸先もよい〳〵好やうな氣がする……迷ひの幸三郎は、終に破天荒の大覺悟を決するに至つた。

『小母さん、義郎君、それまでに被仰つて下さる御厚意に對して、何ぼ何でも御辭退する譯には行きませんから、快くお靜さんを僕の妻として頂く事に決定します。同時に又、今秋の漫遊は、一年間延期する事に決心しますが、先刻來お話のあつた田地とか山林とか云ふお話に就いては、當分の內堅くお斷りして置きますから、それも併せて御承知を賴みますよ。』

『いや、有がたう御座いますだよ。田地や山林は兎も角「承知」の一語をお聞き申したで、胸が迸かに清くと爲ました。これ總領よ、先生さまが此の通り、承知して下されたから、汝や片時も早くお靜を呼びに行つて、連れ戻つて來て呉れ。善ければ急げちや。幸び軒端の梅も此の通り咲いて、鳴きさうな日出度い日和ちやにの。』

『ます〳〵、阿母さん、お前のやうに然うそは〳〵しく言つても、仕樣がありません。倉橋さんも男なら、義郎も男だ。男と男が一旦約束をはしたからには、本人のお靜に聞かせるのは、歸つて來てからでも、遲い事はありや爲ませんよ。』

西洋料理、西氣すき燒、ハイカラ丼 おいしい東京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

『いや〳〵然うでねだよ、先生さまの心に間違ひはなくても、娘に寸刻も早く此の事を聞かせて、喜ぶ顔を妾等が見てゐだ、汝が迎へに行つて呉れずば、妾等が一走り杖の力で行つて來るだよ』

老婆はもう嬉しさ怡ばしさの餘り天にも昇るやうな心地で、義郎や幸三郎の押止めるも肯かずに、櫻の杖を引張り出して來て腰を叩きながら出掛けたのである。

『はツは、は、言ひ出したら肯かんお袋で、弱りきつて了よ』と影を見送りながらの義郎は獨語、但しその獨語の裏には、掛にも負けぬ喜悅の色は溢れて居た。

□戰後の小獨立國

聯合國の講和條件は人種分布地圖に依る歐洲改造と小國の獨立保障を原則とするといふので戰爭も濟まない先きから吾も己もと獨立の自治を要求して居るが戰後是等の要求が悉く容れられたら雨後の筍のやうに此處にも其處にも小王國や小共和國が出來る譯である其の最も大なるものが波蘭、後露國に併せられた由緒あるリシュアニア、墺國內のボヘミヤ、クロアチヤ、國境改正の結果として大伊太利、大塞爾維、大羅馬尼が生れる土國ではアルバニヤの獨立、アルメニヤの露國割讓、紅海岸にメッカを首府とするヘッヂアズは既に土國に叛き英國の半保護國として獨立し列國の承認を求めた、さうなると永い間世界中を流浪した猶太人もシリヤの故郷に歸つて家が持ちたからう聯合國も厄介な世話の多いことだ

□あしの芽會(龍岩浦)

原石鼎先生選 木下ギヌ社內

佳作

水涸れて土橋の土の埃哉 琇好
顏鳴く鶏踏みひとぶや冬の川 球川
亂山の中より細き冬の川 東山
冬の川奈落に見ゆる岩の碣 盤桃
冬川の堤下に添ふて道廣し 默鈴
布切れの石にかゝりや冬の川 蜂月
腕太き男の子の倭名の吉書哉 琇好
年の瀬の醤油買ふ家に灯のともる 柏三
追羽子の隱れて聽ふ松飾り哉 鹽桃
道余に目だゝぬ松の飾り哉 木公
初日影眞砂をふみて戾りけり 宗好
たく絲しき曙の空より初日影 木公
潮汲めば綺崎に初日揺けり 琇好
初日影拜す命の影長し 默鈴
結氷や讀む家へ一灯の點き 柏三

秀逸

冬川の岸な蔵の尾引きすれり 醉桃
松飾り繞ぐ暮れし社番所哉 武好
武笛戸に鳴るや初日の前哉 東山
靜やかに初日拜うお前の前哉 木公
結氷や枯木にとまる夕鴉 峰月
結氷や並ゝ行く畑に道細し 劍牛
結氷や濁の菌干の吉かす哉 琇好
結氷や蹴ふ蓮に太き倉庫哉 同
結氷に追ふ火の過く月夜かな 同
板を燒て火の切れや冬籠 木公
結氷や 同

□石鼎先生よりあしの芽會へ

（朝鮮在住の句作者に對しても窓する事多からんと思ひ爲錄仕候）

初日だの門松だのと云ふ題は新て六ヶ敷しいものです、大抵は平凡陳腐、月並となるのです、たまく此の結氷を見ると及んで安心しました。結氷は日本より朝鮮の方が盛いと思ひます、そして如何にも御地の景色が思ひしのばれます。朝鮮にゐると云ふ心持で句を作るのです。只の句だのすげたり名詞の上で讀んでも駄目です、只朝鮮にゐるならでそれが朝鮮にゐるとい心持でお詠みになれば內地の人の詠んだ人と又別の香がまつはります、だから寫生が一番大切です、自分の頭で机の上で考へるよりも外の景色や生活やな寫生するのです。

●明治大學々生募集 例年の通り來る四月八日同大學豫科新學期開始に付き學生募集中なるが同大學豫科は法科、商科、政治經濟科の三學科に入るの豫備門にして法科は英法兼修、獨法兼修の二あり豫科入學の際其一を選定せしむ入學資格は中學校卒業者及び之と同等以上の學力ありと認めたる者として第一學期の始め無試驗入學を許し其他は試驗の上豫科別科へ入學を許す由なるが右之內り豫科卒業者は本科大學豫科に限り本科生として入學資格を有すと云ふ

新刊紹介

▲暴風警報利用のすゝめ 暴風雨の災害より暴風雨の起る理、暴風警報の實際に關し冊子（但不許配布所觀測所）

▲朝鮮之副業（二月號） 牧馬、鷄養、馬蹄等に關する農家の副業其他を收む（十五錢京城黃金町二の一二十社）

▲婦女界（三月號） お優しい兩妃殿下『片岡……』……（十七錢丹公園九番町一の廿四社）

▲農業世界（定期增刊蔬菜果物利用法） 蔬菜及果物の乾燥、貯藏、漬物、料理、漢方等に關する方法、果物菓子……（二十二錢東京市日本橋區本町三丁目博文館）

▲最新俳諧講義錄（一） 今回第十五回……（會費月六十錢東京市小石川區東青柳町大日本俳諧講習會）

▲法科學報（二月號） 木下明大校長、奧田、戶水兩法學博士を顧問とし鳩山、維本、牧野、松本諸博士其他の法律に關する各種の學說を載せたり（價不詳東京市神田區猿樂町一の二帝國法科學報社）

▲うかれクラブ（三） 八錢東京市麴町區一番町一六中松岡彥方

▲家庭教育（二月號） 六錢東京府千駄谷原宿一八七共社

▲少女新世（一五） 二錢東京市京橋區桑町一東京社

▲日本印刷界（二月號） 北海雜誌中印刷及び廣告に關し一面地を拔きたるの觀あり印刷物研究俱樂部欄又本誌獨特（二十七錢大阪市東區南本町二非社）

▲女の世界（三月號） 舞踊と女の姿、庇髮の据つた女、女優の出身學校、女と性との問題及び怪談、現世御前、夾さば等の小說（二十三錢東京市麴町區有樂町一の四實業之世界社）

天覽 蘇峰 德富猪一郎新著

大正の青年と帝國の前途

總クロース上製天金 函入菊版七百五十頁 定價金二圓八十錢 郵稅十二錢

上製

並製 四六版七百二十頁 定價金八十錢 郵稅八錢

大谷光瑞師と本書の批評

▲本書發刊以來玆に三ケ月餘、版を重ぬる七十有二、發賣部數十六萬餘に上る。其間本書を閱讀せられたる江湖の君子より、著者に對して書を寄せられたるもの、實に几上に山積す。就中大谷光瑞師の寄せられたるものを以て、最も雄勁警拔の大文字と爲す。

▲海外に放浪し、滿腔忖藏を一管の筆に託して悶を遣る。然も夢寐の間國家を忘れず、身は異鄉に在るも、魂は帝國を離れず、佛門至上の權貫を棄てゝ報效の念燃ゆるが如し。舊臘本書の世に出づるや、同感讃嘆の情自ら禁する能はず、椽大の筆を揮て滔々數萬言の大文章を艸し、遙に之を上海より著者に寄せらる。

▲掲げて昨年十二月下澣より、本月初旬に至る國民新聞紙上に在り。回を重ぬる三十六、當今の論壇稀觀の警世的傑作たり。今ま其中に就て、最も著者立言の精神に契合したる數節を摘錄し、以て江湖君子の一粲に供す。

【狂喜を禁じ得ず】 蘇峰先生は不肖の尊崇せる學者なり、畏敬せる親友なり。常に教訓を垂れ、不肖の蒙を啓きし學校と爲すべからず。近著『大正の青年と帝國の前途』の一卷を惠投せらる。之を讀んで其識見の高遠に、其所論の明快に、其教訓の懇切に、再讀三讀卷を覆ふ能はざらしむ。司馬子長曰く『孔子作春秋。筆則筆。削則削。游夏之徒。不能贊一辭』と。夫れ蛇足抗賛は無用也。然りと雖も、稱揚讃嘆は智愚を簡ばず。不肖豈是に對して一辭なくして可ならんや。謹んで之を讀むに、全篇の骨子は即ち亞細亞主義の五字にあり。亞細亞主義とは即ち大日本主義なり。而して之を行ふや、大乘的使命に在り。是れ不肖の永年抱懷せる所にして、而も造次顚沛も忘るゝ能はざるなり。今この書を見て、始て三十餘年の悶を解く事を得、豈狂喜を禁ずるを得んや。

【千載一遇の危機】 然れども飜つて之れを考ふるに、千歲一遇の危機なり。蘇峰先生曰く『大危機とは何ぞや、日本は强國として存するか、亡國として滅ぶるか十字街頭に立てり。程毒き程度にて、香氣に一國の獨立を維持するの半世期に於ける行掛りの上にて、最早不可能の事となれり。然るに我國民は、未だ强國たるの方針を定めざるなり。我國民は、未だ强國たる可き準備を整さゞるなり。吾人が所謂る大危機とは、則ち是なり』と。實に然り。而して國運隆昌の力を致さゞるに外ならず。是の如くして、國運の隆昌を冀ふ亦難からずや。實に千歲一遇の好機に非ず、蘇峰先生も斯の如く言へり。不肖も亦斯の如く信ぜんとす。

【大聲眼を驚かす】 不肖敢て慷慨の言を唱へ、自から高しとするに非ず、世を嘲つて自から賢なりとするに非ず、不肖の如きは、放浪流落の身なり、賢たるも用なし、高しとするも貴しとせず、幸に衣食に乘餒せず、殘年を終らば可なり。然れども常に海外に放浪し、我帝國の危機を望見するを得、故に明了に其危きを指示する事を得。今蘇峰先生の此書を著さるゝを讀むに、言々句々、其節に當り、恰も每人の枕上に、大聲眼を驚かすが如し。

【救國の妙方なり】 嚮に『時務一家言』と『世界の變局』を著はせり。憂國の至情凝て此書を成せり。この三書を讀で、奮起せざるは、人に非ず、人に非ざるに非ず、生人に非ざるなり。生理上法律上生人の列に伍すと雖も、實は死人なり。而して此を讀で、猶盛爵己れの非を飾らんとするが如きは、即ち曲學阿世の徒にして、所謂今日の蠹毒たり。今我帝國亡國街道に入り、而も猶驚瀾を既倒に廻すを得ば、實に此書の賜なり。不肖は殘骸を海外に投じ、常に外間より我帝國の危機を不斷に警告せんとす。迷夢を驚破せしめられん事を、同憂の士に訴へんとす。憂國の至誠を以て、言はざると、書記すると、否とあるも、至誠は皆一なり。六十年前、憂國の志士は、斷頭剖腸至誠を盡せり、今の志士豈古に讓らんや。今此書を讀むの人、勸むるに朋友に、眷親に、鄕黨に以てして二人にても多く之を讀ましめざるべからず、是今日の急務なり。人誰か亡國を喜ばん亡國たるを知らざるによる。若夫れ是を知らば、悚然として身毛の竪んのみ。唯是を救ふの途、亞細亞主義の徹底にあり、軍國主義の整備にあり、是を除て是を救ふの途なし。故に此書の普及は、救國の妙方也。玆に切實に全帝國の人士に、此書を讀まん事を勸告す。

發行所 東京市京橋區日吉町 振替口座一三一〇〇 民友社

賣捌所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次所 京城本町二丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 巖松堂 京城本町一丁目 日韓書房 京城日報各地支局

京城府條例第一號

……府會ノ議決ヲ經朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ工事ノ請負勞力ノ供給及物件ノ賣買貸借ニ關スル條例中左ノ通改正ス

大正六年三月一日 朝鮮總督府京城府尹 金谷充

大正五年京城府條例第二號工事ノ請負、勞力ノ供給及物件ノ賣買貸借ニ關スル條例第二條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

九、廢道敷地ヲ其ノ地先地主ニ賣却スルトキ

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

京城府告示第四號

大正五年度京城府歲入歲出追加並更正豫算左ノ如シ

大正六年二月二十八日 朝鮮總督府京城府尹 金谷充

大正五年度京城府歲出更正豫算

歲出經常部
第二款 土木費
第一項 道路橋梁費 金貳萬九千百八拾壹圓
第三項 測量費 金貳百貳拾六圓
第三款 傳染病豫防費 金參千四百七拾七圓
第一項 雜給 金貳千百六拾壹圓
第五款 汚物掃除費
第二項 傭人料 金九萬七千六百貳圓
第三項 馬匹費 金壹萬五百四拾貳圓
第四項 器用費 金壹萬四千參百卅參圓
第五項 道路撒水費 金四千六拾七圓
第六款 屠獸場費
第二項 器用費 金貳千五百參拾參圓
第三項 修繕費 金四百圓
第十款 警備費 金壹萬五千百四拾圓
第一項 雜給 金壹萬參百七拾四圓
第十一款 基本財產造成費 金參百八拾五圓
第一項 基本財產造成費 金參百四拾九圓
第十二款 豫備費 金五千參百貳拾四圓
經常部計 金參拾萬八百九拾貳圓
歲出臨時部
第十二款 財產買入費 金九萬參千六百四拾四圓
臨時部計 金參拾九萬參千六百拾五圓
歲出合計 金參拾萬八千六百四拾五圓
大正五年度京城府歲入出追加豫算
歲入臨時部
第八款 國庫補助金
第二款 臨時部 財產賣却代金 金貳千八百八拾圓
歲入合計 金千參百八拾圓
歲出臨時部
第一款 土木費
第二項 道路橋梁費 金千五百圓
……
第八款 臨時部計 金五千五百拾圓
歲出合計 金貳千八百八拾圓

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戶大阪行 ×天草丸 三月十二日 △永田丸 三月十五日後五時出帆 ×山頭丸 三月十八日
○木浦、釜山、門司、神戶大阪行 天智丸 二月 日 濟州丸 三月五日 正午出帆
○木浦、釜山、厳原、鄕の浦長崎行 安東丸 三月九日後二時出帆 ×安東丸 三月廿七日
○群山、釜山、橫濱行 福州丸 三月二十日 チヨミサン丸 三月三日後一時出帆
○群山、神戶、大阪行 濟州丸 月 日 五時出帆
○鎭南浦、大連行 安東丸 三月廿二日後二時出帆
○大連直航 安東丸 三月六日 福州丸 三月十九日 正午出帆
○神戶大阪行 潮州丸 月 日 正午出帆
○淸津、浦潮行（元山出帆） 城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 印平丸 三月十五日 安平丸 三月十五日 宮島丸 三月廿一日後十二時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 湖北丸 三月十三日前六時出帆 基隆丸 三月 日後四時出帆

御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と連絡切符發賣仕候●貨物運送の取扱及び保險等取扱……

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番五〇番 京城切符發賣所 內國通運會社支店

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 伏見丸 三月六日午後入港 三月八日正午出帆

（仁川出帆）朝鮮郵船及び本社主要船にて貨客連絡…… 阿波共同汽船株式會社

本町四丁目（電話一七三番） 野口商會

仁川代理店 春日町（電話二四四七番） 田口回漕部

元山代理店 東大門（電話二六八、二〇一七） 河村運送店

京城取次店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 三月十二日後五時出帆 立神丸 三月十三日後五時出帆 元山丸 三月十一日後十時出帆
○門司、淸津、浦鹽行 和歌浦丸 三月十二日 立神丸 三月 日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 三月六日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 三月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 每月二日、九日、十四日、廿六日 午後十一時出帆
○天草丸 每月 日
本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶大阪行
○大有丸 三月八日後五時出帆
○秀吉丸 三月 日後五時出帆
○君が代丸 二月 日後五時出帆
○神代丸 二月 日後五時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

○全羅丸 三月五日
○京畿丸 三月十五日
○黃海丸 三月一日
○成鏡丸 三月 日 門司より釜山各港寄港北鮮基港航路 釜山發
○鏡城丸 三月五日
○昌平丸 三月十二日
○鏡城丸 三月一日 元山より各港經由雄基行 元山發
○昌平丸 三月 日 咸底寄港長箭行 元山發
○盛德丸 三月三日 甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 每日 長生浦方魚津寄港 浦項 釜山發
○三浦丸 三月七日 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港 釜山發
○海州丸 ○統營丸 各港經由麗水行（三日目一回大邱行） ○巨濟丸 ○慶寶丸 每日 釜山發
○平壤丸 三月二日 ○忠南丸 三月七日 城津、淸津、雄基行復航釜山より門司又は長崎行 元山發
○順天丸 二日目每ニ 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續 木浦發
○慶興丸 三月 日 各港經由濟州島行西廻 木浦發
○慶興丸 三月六日 南多島、海列島行月三回 木浦發
○公州丸 三月四日 各港經由濟州島行東廻 木浦發
○江原丸 三月一日 芝罘、大連、青島行 仁川發
○麗水丸 ○晉州丸 三月二日 仁川發
○錦江丸 三月五日 各港經由木浦行 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 每日午前 海州他各港經由麗水行 江華島、桐柘島、海州行 仁川發

本社 鐵道會社及社外船と貨客連絡運送の便あり 京城南大門驛前 代理店 京城荷客取次店 松原運送店（電話一七〇番）